LIXIL

JZZ637589B

取付説明書

フェンスAB YL3（傾斜）型　傾斜地仕様

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。

■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

安全に関する記号と説明

警 告　・取扱いを誤った場合に使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示します。

注 意　・取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示します。

情報に関する記号と説明

お願い
・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

補 足　・説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

ネジ等の締結部品の記号

ネジやナット等の締結部品を記号で示してます。（例：1a、1b、2c等）
締結部品の種類は「 **梱包明細表** 」を参照してください。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

□施工の前に

警 告

●フェンスは隣地との境界を示す目的で設置するものです。転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。特に崖上や高台など、転落してケガをするおそれのある場所へは施工しないでください。

注 意

●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。

お願い

●正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
●梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
●フリーポールの場合は、ブロック塀（フェンス含む）総高さは2.2m以下で施工してください。
●施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

□施工上のご注意

注 意

●現場でブラケットや継手を組付け･締結する場合は、施工後に締結器具を必ず確認してください。締結不良は風による破損･飛散事故の原因になります。
●柱と本体ジョイント部の間隔は300mm以内で施工してください。それ以上離れると耐風圧強度が大幅に低下します。
●基本寸法の各寸法表の柱ピッチを守って施工してください。それ以上は離れると製品強度が維持できなくなります。
●下桟すきまカバー端部キャップを必ず付けてください。ケガをするおそれがあります。
●下桟すきまカバー端部キャップを加工した際は、紙ヤスリ等で切断長のバリ取りを行ってください。バリ取りがなされていない面に触れた場合、ケガをするおそれがあります。
●製品の改善は絶対にしないでください。　●施工終了後は、ネジにゆるみがないか確認してください。
●ネジは当社指定品を指定本数使用し、下記締付トルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
・φ4ネジ:1.0N･m±0.3N･m(10±3kgf･cm)　・φ5ネジ:3.0N･m±0.5N･m(30±5kgf･cm)
●埋め込み基準線より深く埋め込む場合は、GLから20mmの高さに水抜き穴を開けなおして下さい。柱の腐食が促進するとともに、溜まった水が凍結し、破裂する恐れがあります。

□基礎工事について

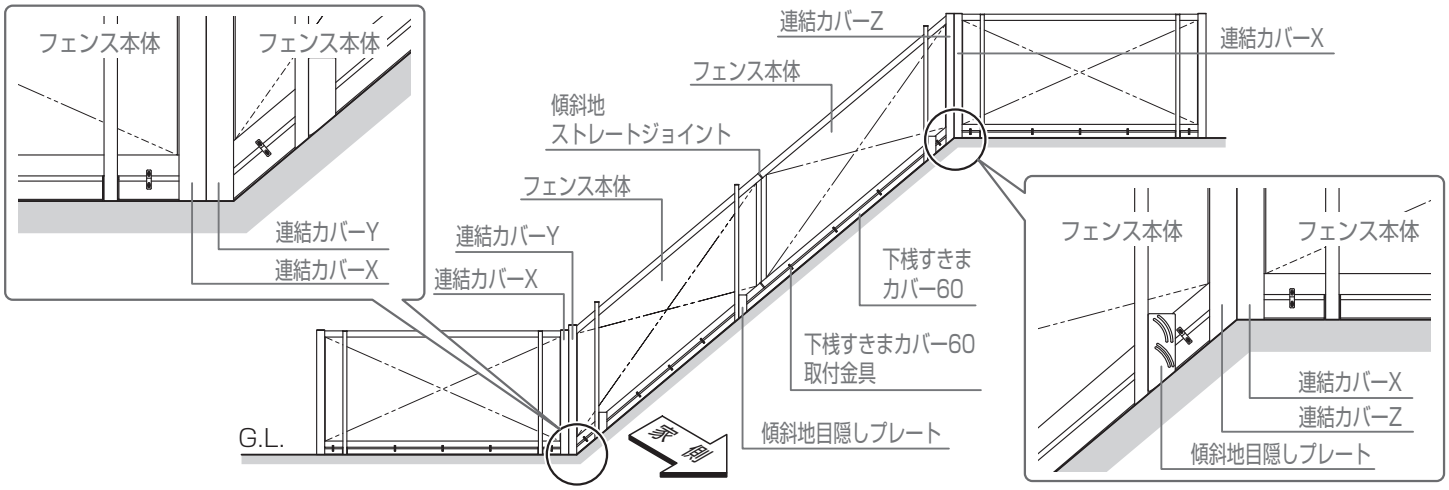
注 意

●コンクリートまたはモルタルには、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固防止剤、急結剤など)は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
●柱はブロックに施工しないでください。高尺のため強い風圧を受け、飛散事故の原因になります。
●必ず割栗石を敷いてください。基礎が沈降したり傾いたりすることがあります。
●養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。
●基礎の大きさ、基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めていますが、現場によって(堅牢な地盤、軟弱な地盤など)基礎部のコンクリートの量(体積)を十分配慮してください。
●基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。強度低下の原因になります。

1 基本寸法と各部名称

1-1 各部名称

1-1-1 フリーポール柱



お願い

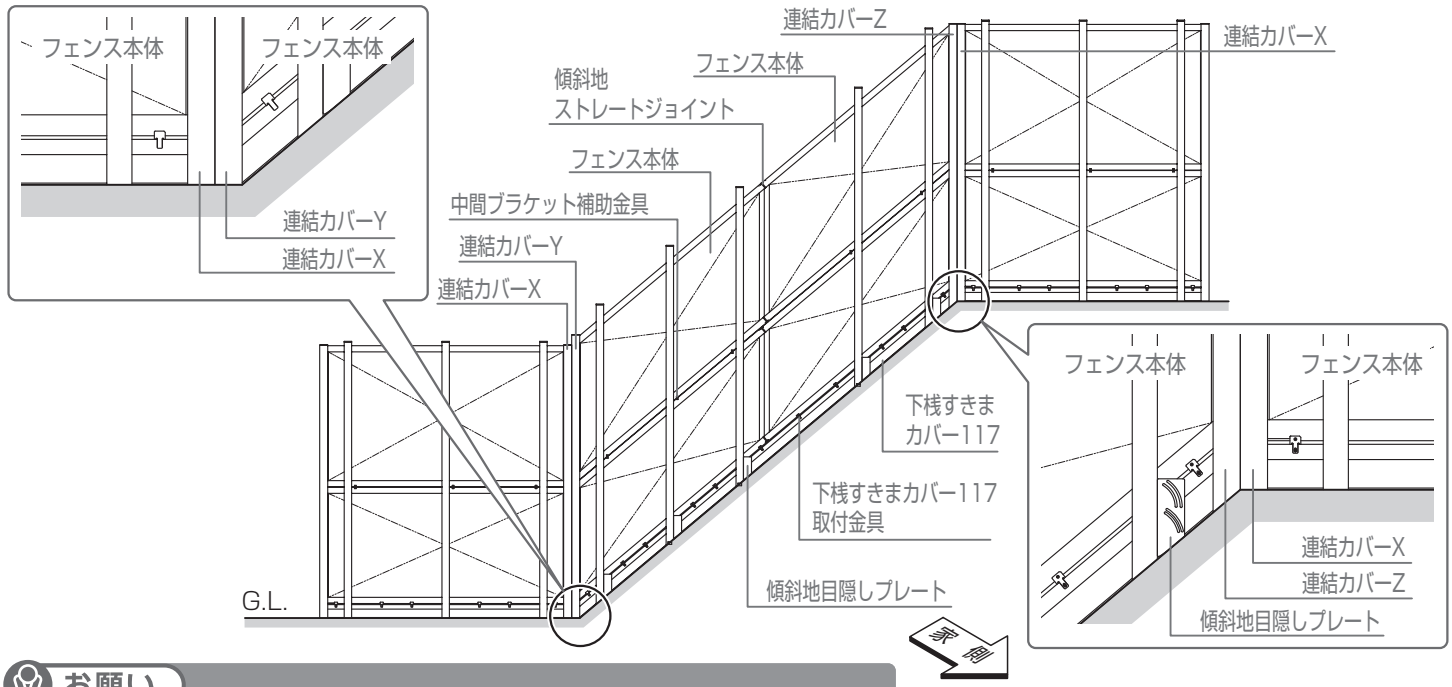
▼ フリーポール柱の場合 ▼

●次の手順に進み施工してください。

2 上下桟の切断 ▶ **3 上下ブラケット及びフェンス本体の取付け** (フリーポール柱の場合)

1-1 各部名称

1-1-2 多段柱



お願い

▼ 多段柱の場合 ▼

●次の手順に進み施工してください。

2 上下桟の切断 ▶ 4 上下ブラケット及びフェンス本体の取付け（アルミ多段柱の場合）

1-2 基本寸法

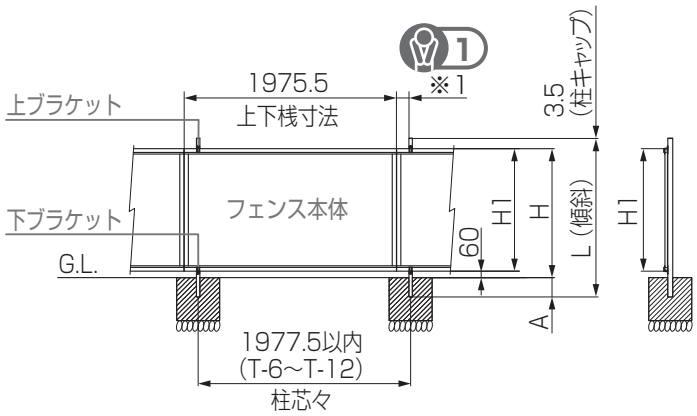
1-2-1 フリーポール柱

お願い 1

●フェンス端部～柱の端部までの距離（※1）は60mm～300mmで施工してください。

▼ 下桟すきまカバーを付ける場合 ▼

●フェンス端部～柱の端部までの距離（※1）は85mm～300mmで施工してください。



▲ 独立基礎の場合 ▲

●寸法表

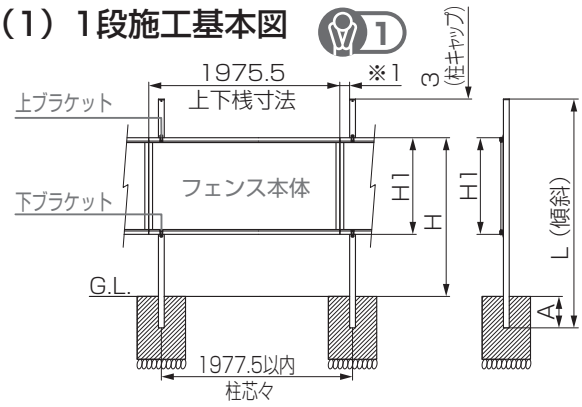
寸法単位 mm

呼称	H	L（傾斜）	H1	柱ピッチ	柱埋込寸法A
T-6	600	875	540	1977.5	180
T-8	800	1075	740	1977.5	180
T-10	1000	1275	940	1977.5	180
T-12	1200	1475	1140	1977.5	180

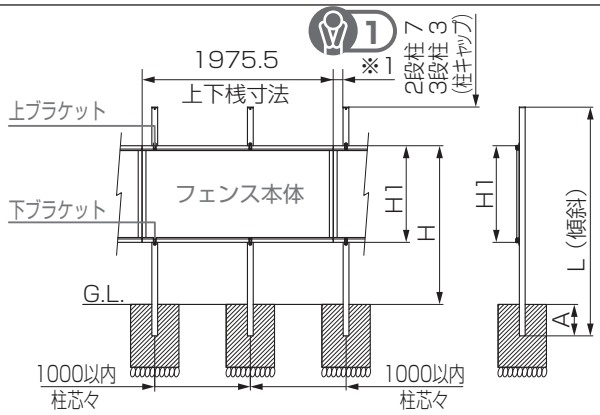
1-2 基本寸法

1-2-2 多段柱

(1) 1段施工基本図



▲ T-12～T-18 ▲



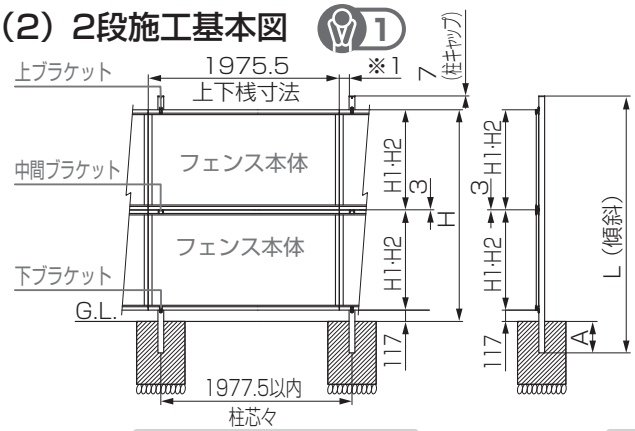
▲ T-20～T-30、T-12フェンス使用の場合(※2) ▲

お願い

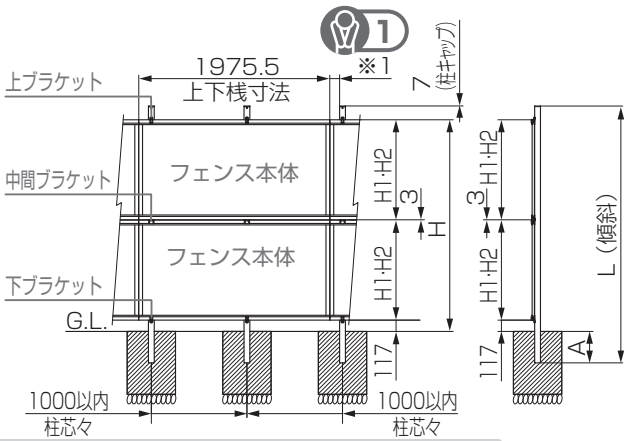
▼T-12フェンスを使用する場合▼

●柱ピッチを1000以内にしてください。(※2)
また、T-12サイズの柱にT-12フェンスを取付けすることはできません。

(2) 2段施工基本図



▲ T-12～T-18 ▲



▲ T-20～T-24、T-12フェンス使用の場合(※2) ▲

●寸法表

寸法単位 mm

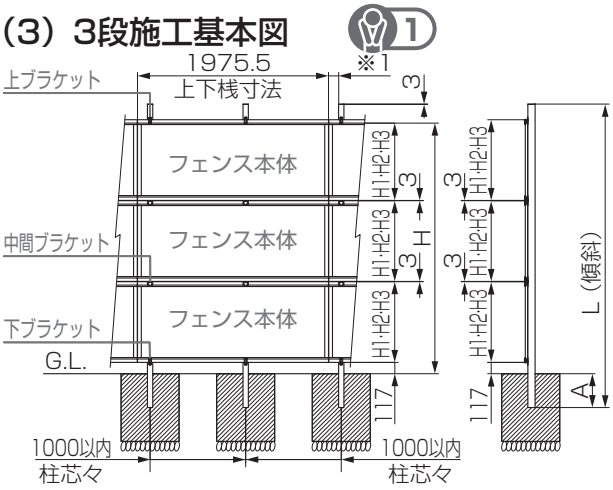
柱種類	呼称	使用する柱サイズ	H	L (傾斜)	H1	H2	柱ピッチ	柱埋込寸法A
2段柱 60×60	T-12	T-14多段柱	1200	1743	540	540	1977.5	350
					740	-		
					940	-		
	T-14	T-16多段柱	1400	1943	540	740	1977.5	
					740	-		
					940	-		
					1140	-	1000 ※2	
	T-16	T-18多段柱	1600	2143	540	940	1977.5	
					740	740		
					940	-		
					1140	-	1000 ※2	
	T-18	T-20多段柱	1800	2343	540	1140	1000 ※2	
					740	940	1977.5	
					940	-		
					1140	-	1000 ※2	

寸法単位 mm

柱種類	呼称	使用する柱サイズ	H	L (傾斜)	H1	H2	柱ピッチ	柱埋込寸法A
2段柱 60×60	T-20	T-22多段柱	2000	2543	540	-	1000	350
					740	1140		
					940	940		
					1140	-		
	T-22	T-24多段柱	2200	2743	540	-	1000	
					740	-		
					940	1140		
					1140	-		
	T-24	T-24傾斜用多段柱	2400	2886	540	-	1000	
					740	-		
					940	-		
					1140	1140		
3段柱 55×75	T-26	T-28多段柱	2600	3267	540	-	1000	
	T-28	T-30多段柱	2800	3467	740	-	1000	
	T-30	T-30傾斜用多段柱	3000	3602	940	-	1000	

※1段施工の場合は、H1のみ参照してください。

(3) 3段施工基本図



▲ T-26～T-30 ▲

●3段施工寸法表

寸法単位 mm

呼称	使用する柱サイズ	H	L (傾斜)	H1	H2	H3	柱ピッチ	柱埋込寸法A
T-26	T-28多段柱	2543	3267	540	940	940	1000	500
				740	740	940	1000	
				540	740	1140	1000	
T-28	T-30多段柱	2743	3467	740	940	940	1000	500
				540	940	1140	1000	
				740	740	1140	1000	
T-30	T-30傾斜用多段柱	2943	3602	540	1140	1140	1000	500
				740	940	1140	1000	
				940	940	940	1000	

お願い 1

●フェンス端部～柱の端部までの距離(※1)は60mm～300mmで施工してください。

▼ 下桟すきまカバーを付ける場合 ▼

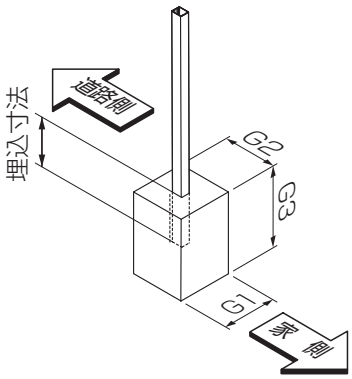
●フェンス端部～柱の端部までの距離(※1)は85mm～300mmで施工してください。

1-2 基本寸法

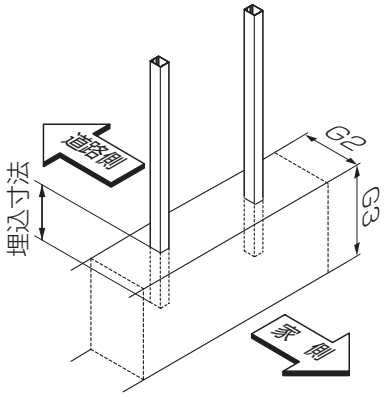
1-2-3 柱の施工

(1) フリーポール柱

▼ 独立基礎の場合 ▼



▼ 連続基礎の場合 ▼



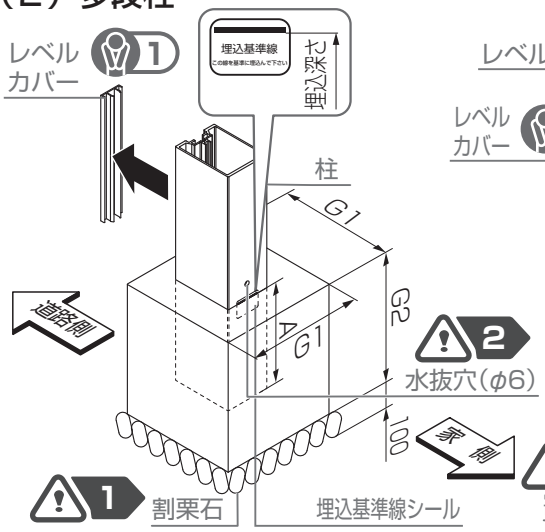
●基礎寸法表

寸法単位 mm

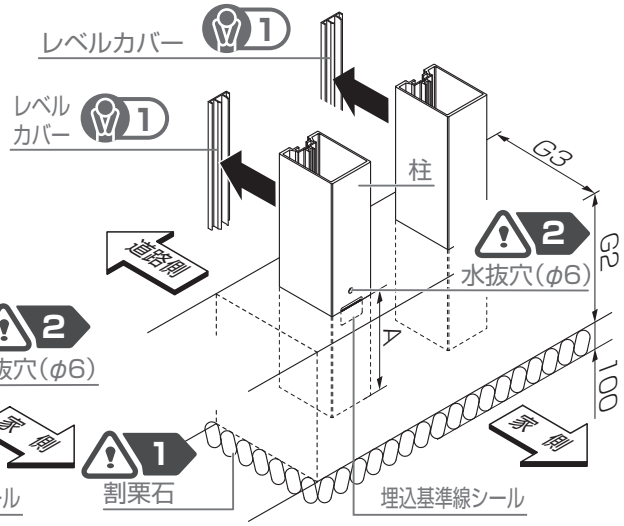
呼称	独立基礎			連続基礎	
	G1	G2	G3	G2	G3
T-6	200	200	300	200	200
T-8	200	200	350	200	200
T-10	250	250	400	250	250
T-12	300	300	400	250	250

※地耐力は100kN/㎡で計算

(2) 多段柱



▲ 独立基礎の場合 ▲

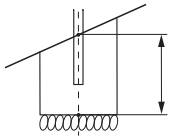


▲ 連続基礎の場合 ▲

お願い

●記載の基礎寸法は条件が悪い傾斜0度の値です。

●(1)のG3と(2)のG2について、傾斜地での施工の際は下図の通り、柱の中心から基礎の底面までの寸法を示しております。



注意 1

●必ず割栗石を敷いてください。基礎が沈降したり傾いたりすることがあります。

注意

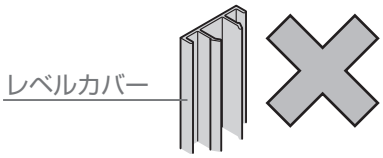
●柱はブロックに施工しないでください。高尺のため強い風圧を受け、飛散事故の原因になります。

注意 2

●埋め込み基準線より深く埋め込む場合は、GLから20mmの高さに水抜き穴を開けなおして下さい。柱の腐食が促進するとともに、溜まった水が凍結し、破裂する恐れがあります。

お願い 1

●傾斜地の場合はレベルカバーは使用できません。破棄してください。
(T-24[傾斜]柱、T-30[傾斜]柱には、レベルカバーは同梱されていません。)



●1段、2段、3段施工基礎寸法表

寸法単位 mm

呼称	使用する柱サイズ	柱ピッチ	G1	G2	G3
T-12	T-14多段柱	1977.5	300	400	300
T-14	T-16多段柱	1977.5※3	300	450	
T-16	T-18多段柱	1977.5※3	350	450	
T-18	T-20多段柱	1977.5※3	350	550	
T-20	T-22多段柱	1000	300	450	
T-22	T-24多段柱	1000	300	500	
T-24	T-24傾斜用多段柱	1000	300	550	
T-26	T-28多段柱	1000	350	500	
T-28	T-30多段柱	1000	400	500	
T-30	T-30傾斜用多段柱	1000	400	550	

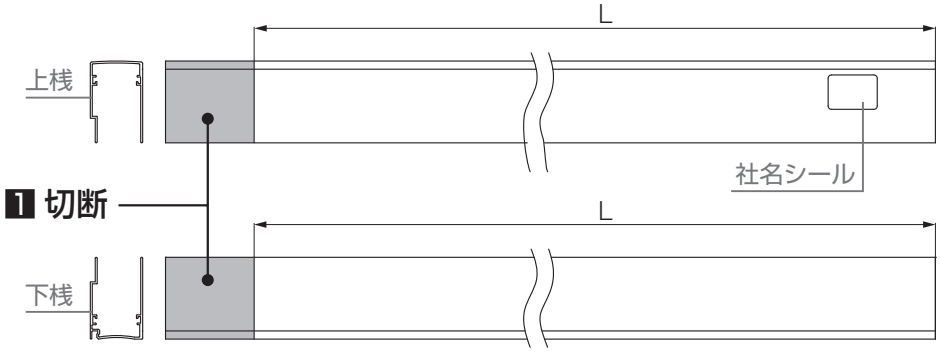
※地耐力は100kN/㎡で計算
※3 T-12フェンスを含む場合は柱ピッチ1000とする

2 上下桟の切断

1:上桟･下桟それぞれを傾斜角度の寸法で切断

お願い

●社名シール側は切断しないでください。



●切断寸法表
（フリーポール柱用・アルミ多段柱用共通）

寸法単位 mm

傾斜角度（θ）	切断長L	
	上桟	下桟
0°	1975.5	1975.5
1°～5°	1976	1976
6°～10°	1976.5	1976.5
11°～15°	1977.5	1977.5
16°～20°	1979	1979
21°～25°	1981	1981
26°～30°	1984	1984
31°～35°	1987.5	1987.5
36°～40°	1992.5	1992.5

3 上下ブラケット及びフェンス本体の取付け（フリーポール柱の場合）

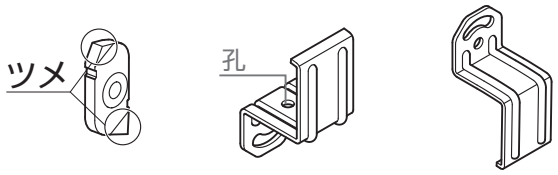
3-1 上下ブラケットの仮組み

1:ブラケット裏板を上下ブラケットに【7a】φ5×10ナベタッピンネジ3種 D=9で仮組み

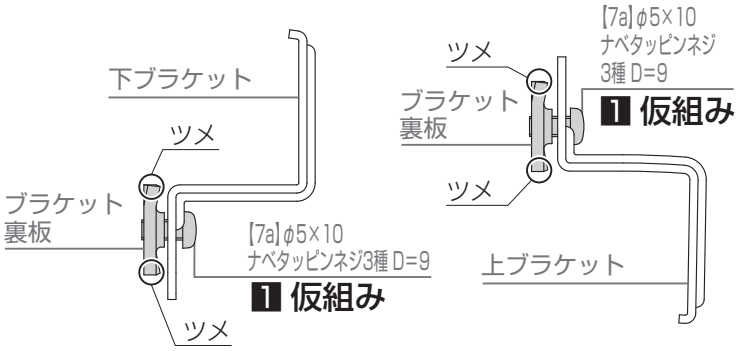
お願い

●ブラケット裏板には表裏があります。角部にツメが立っている側を上下ブラケットに向けてください。
●ブラケットの種類には注意してください。下ブラケットには孔があります。

▼ ブラケット裏板 ▼　▼ 下ブラケット ▼　▼ 上ブラケット ▼



▼ 下ブラケット▼　▼ 上ブラケット▼

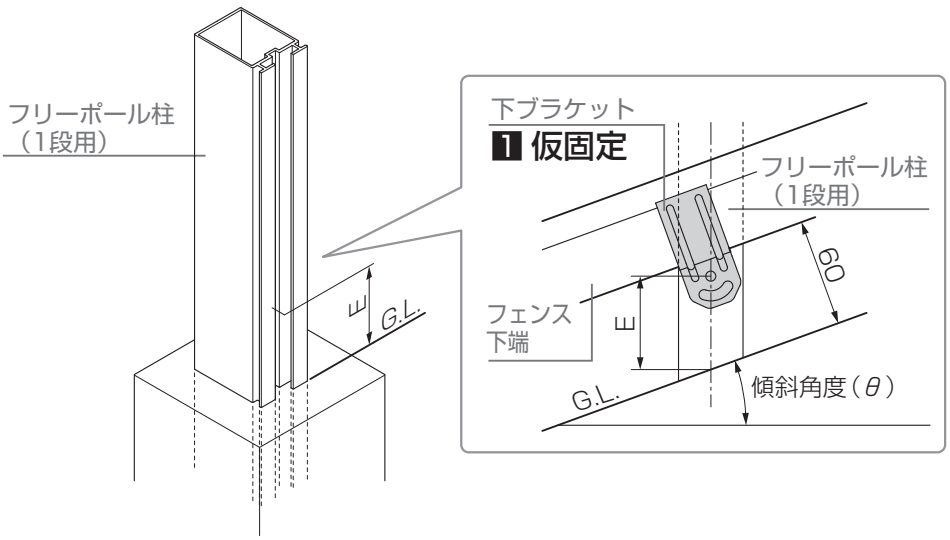


3-2 フェンス本体の取付け（フリーポール柱の場合）

1:フェンスの位置を決めて、上下ブラケットの取付け位置を確認して、仮固定

●下ブラケット固定位置一覧表
（フリーポール柱） 寸法単位 mm

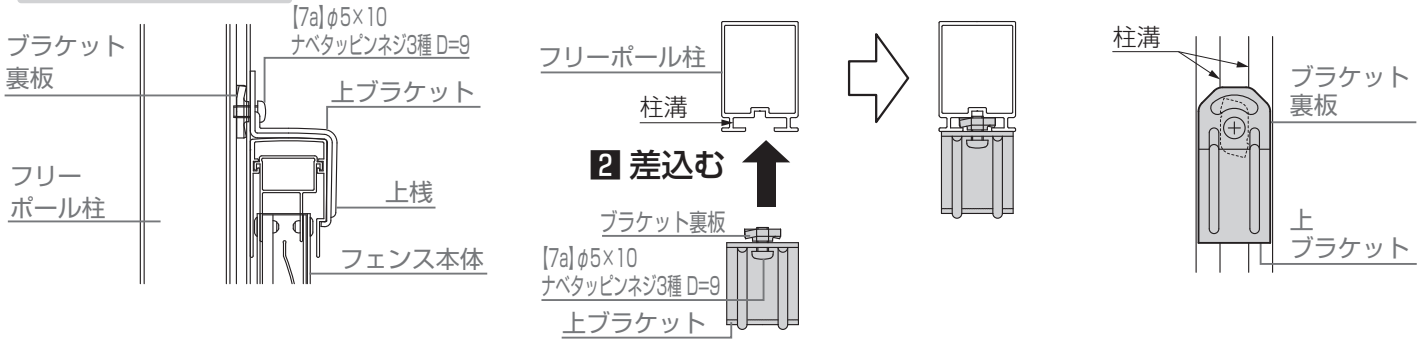
傾斜角度（θ）	E（G.L.からの距離）
0°	49
1°～5°	49.5
6°～10°	50
11°～15°	51
16°～20°	52
21°～25°	54
26°～30°	56.5
31°～35°	60
36°～40°	64



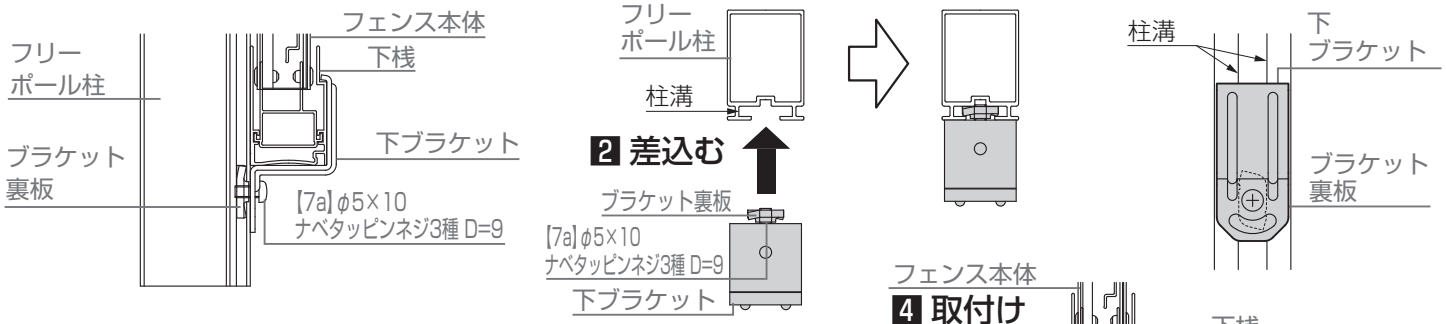
3-2 フェンス本体の取付け（フリーポール柱の場合）

2:仮組みした上下ブラケットのブラケット裏板を縦にし、柱溝に合わせて差込む

▼ 上ブラケット▼



▼ 下ブラケット▼



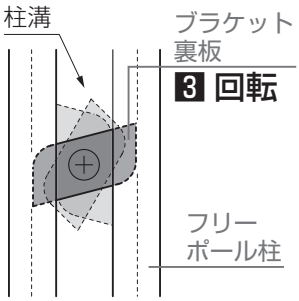
3:ブラケット裏板を回転

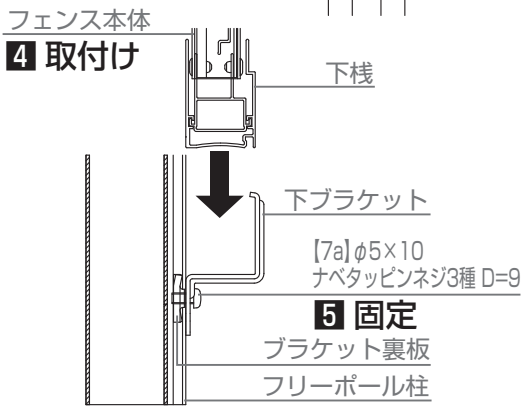
お願い

●ブラケット裏板は柱溝にはまるように横にしてください。

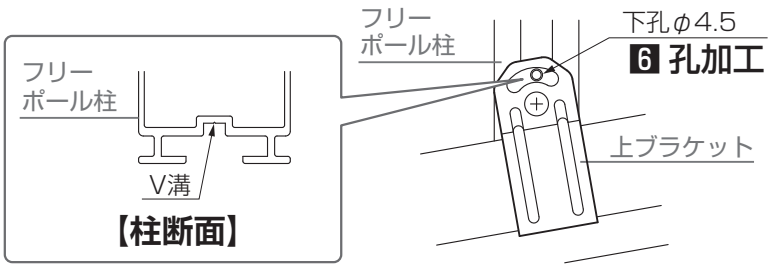
4:フェンス本体を下ブラケットに取付け

5:仮組みしていた【7a】φ5×10ナベタッピンネジ3種 D=9をしっかりと締めて柱に固定





6:上ブラケット側の柱のV溝にφ4.5mmの回転止めの下孔を加工



7:上ブラケットを柱に【7b】φ5×16ナベタッピンネジ3種 D=9で固定

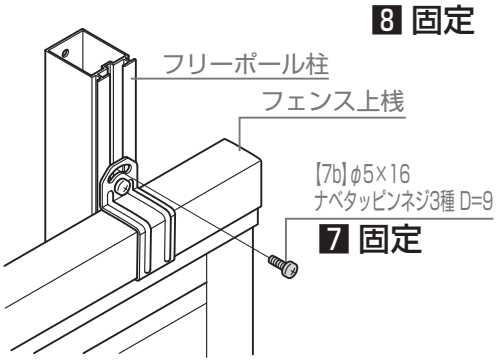
8:柱キャップを柱に【7c】φ4×10トラスタッピンネジ3種 D=8で固定

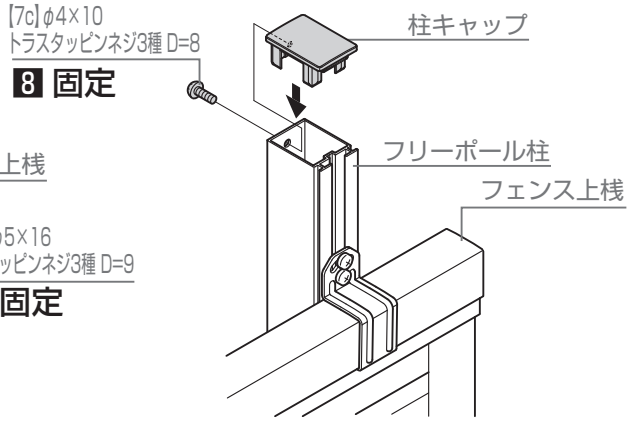
お願い

●次の手順に進み施工してください。

7 上下桟のズレ止め

以降は説明書の順に施工してください。





4 上下ブラケット及びフェンス本体の取付け（アルミ多段柱の場合）

4-1 上下ブラケットの仮組み

1：傾斜地用多段柱ブラケットスペーサーおよびブラケット裏板を上下ブラケットに【5a】【6a】φ5×25ナベタッピンネジ3種 D=9または【5b】【6b】φ5×16ナベタッピンネジ3種 D=9で仮組み

お願い 1

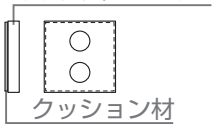
●下ブラケットはブラケット裏板からネジを8mm出してください。

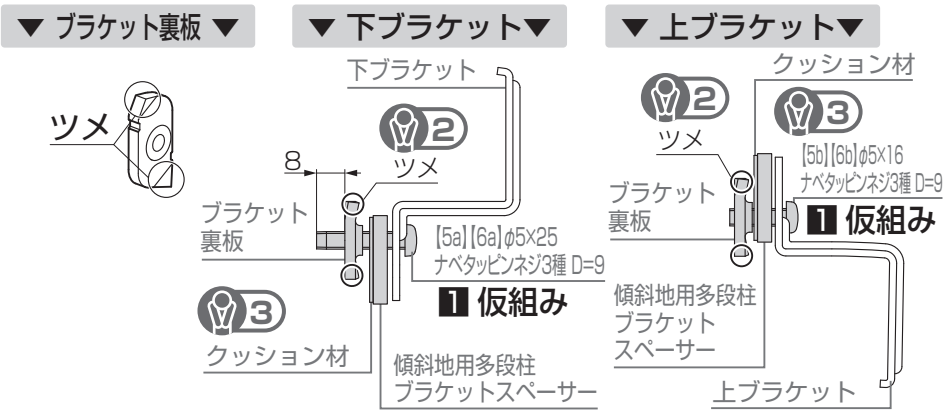
お願い 2

●ブラケット裏板には表裏があります。角部にツメが立っている側を上下ブラケットに向けてください。

お願い 3

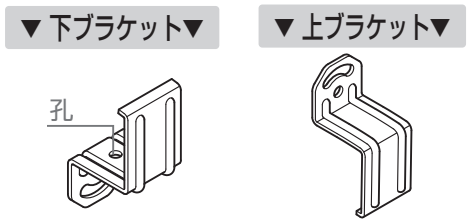
●ブラケットスペーサーには表裏があります。クッション側を柱の側に向けてください。





お願い

●ブラケットの種類には注意してください。下ブラケットには孔があります。

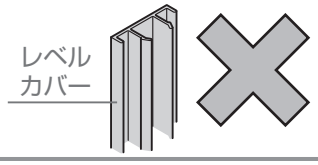


4-2 フェンス本体の取付け

1：下表を参照しアルミ多段柱に下ブラケット用のφ5.5mm下孔を加工

お願い 1

●傾斜地の場合はレベルカバーは使用できません。破棄してください。（T-24［傾斜］柱、T-30［傾斜］柱には、レベルカバーは同梱されていません。）



●下ブラケット用下孔加工位置寸法一覧表（アルミ多段柱）

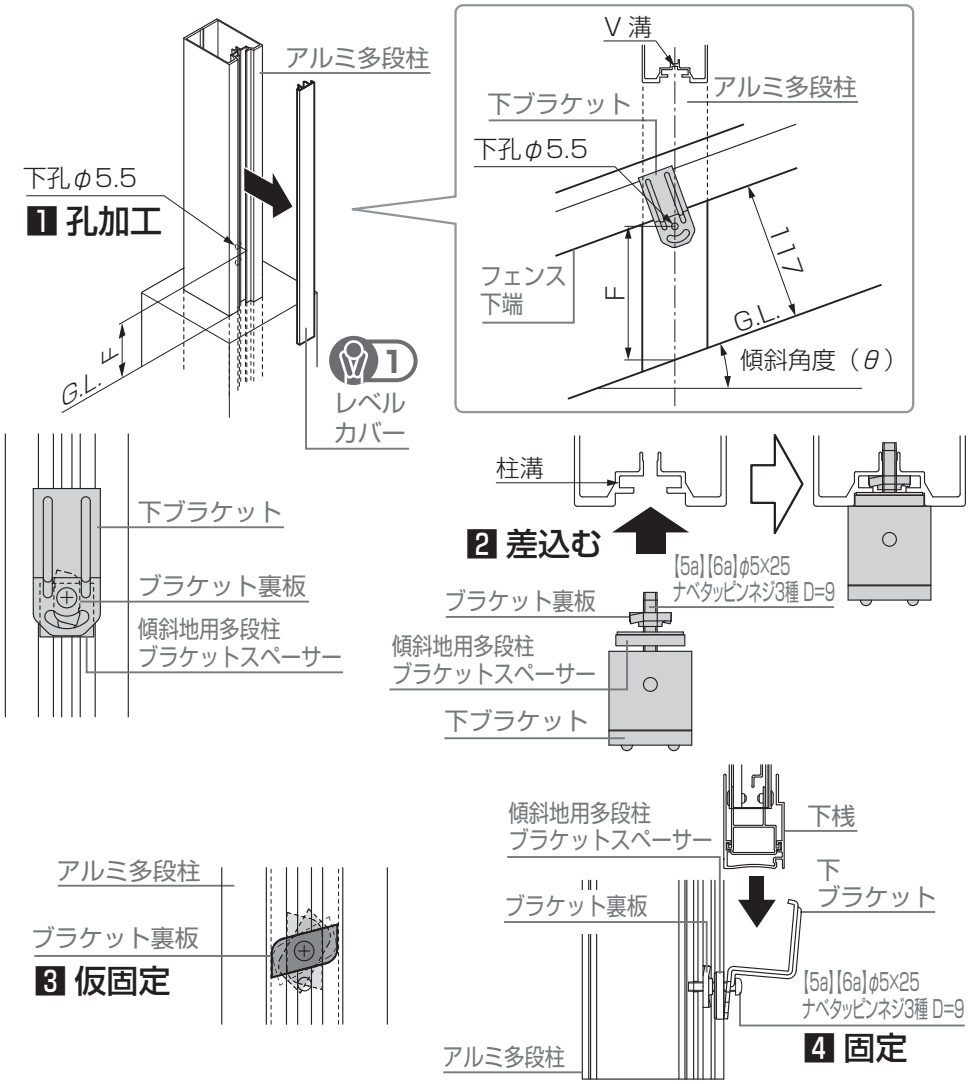
寸法単位 mm

傾斜角度（θ）	F（G.L.からの距離）
0°	106
1°～5°	106.5
6°～10°	107.5
11°～15°	110
16°～20°	113
21°～25°	117
26°～30°	122.5
31°～35°	129.5
36°～40°	138.5

2：仮組みした下ブラケットのネジをφ5.5mmの下孔に差込む

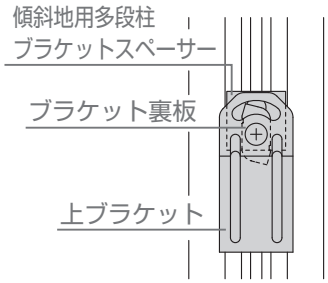
3：ブラケット裏板を回転させて仮固定

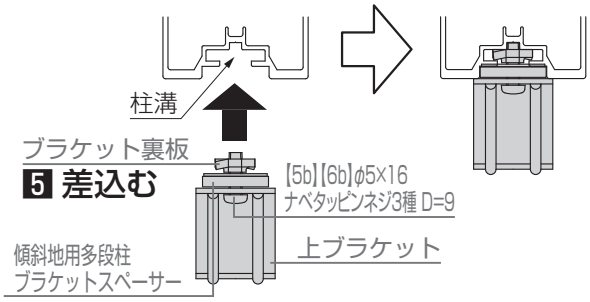
4：フェンスを下ブラケットに載せて、下ブラケットを【5a】【6a】φ5×25ナベタッピンネジ3種 D=9でしっかり固定



4-2 フェンス本体の取付け

5：仮組みした上ブラケットの裏板を縦にし、柱溝に合わせて差込む





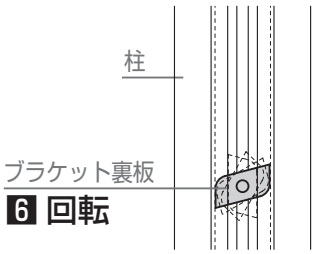
6：ブラケット裏板を回転

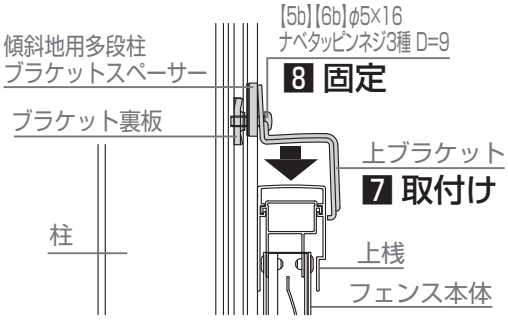
お願い

●ブラケット裏板は柱溝にはまるように横にしてください。

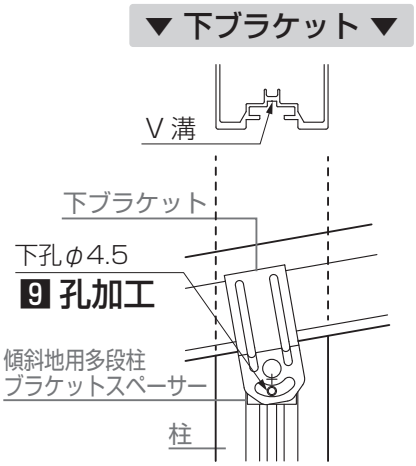
7：仮固定した上ブラケットをスライドさせ、フェンス本体に取付け

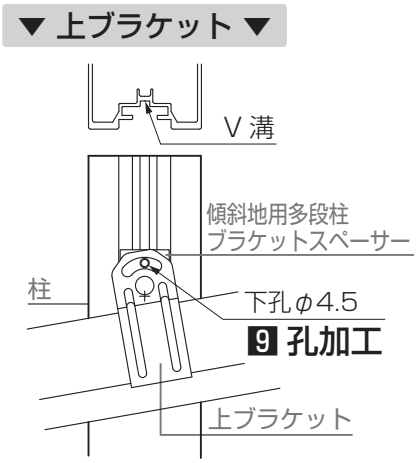
8：仮止めしていた【5b】【6b】φ5×16ナベタッピンネジ3種 D=9を柱に固定





9：柱のV溝にφ4.5mmの回転止めの下孔を加工





10：上下ブラケットを柱に【5a】【6a】φ5×25ナベタッピンネジ3種 D=9で固定

11：柱キャップを柱に固定

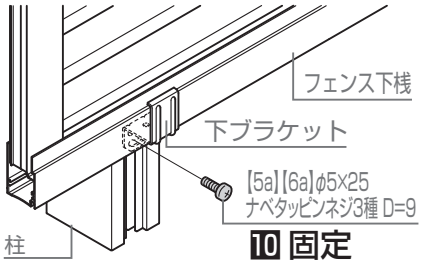
お願い 1

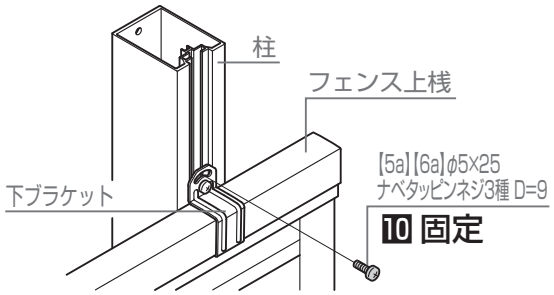
▼ 柱呼称T-12～T-24の場合 ▼

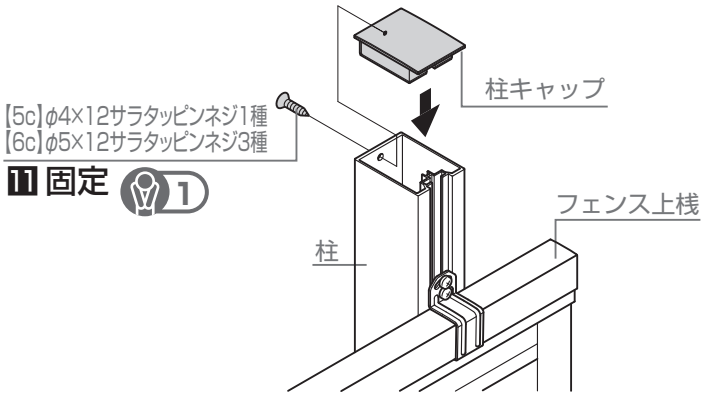
●【6c】φ5×12サラタッピンネジ3種で固定してください。

▼ 柱呼称T-26～T-30の場合 ▼

●【5c】φ4×12サラタッピンネジ1種で固定してください。







お願い

●次の手順に進み施工してください。

5 中間ブラケットの取付け

以降は説明書の順に施工してください。

5 中間ブラケットの取付け ※アルミ多段柱の場合のみ取付けてください。

1:中間ブラケットとブラケット裏板を【4a】φ5×10ナベタッピンネジ3種 D=9で仮組み

お願い 1

●ブラケット裏板には表裏があります。角部にツメが立っている側を中間ブラケットに向けてください。

2:ブラケット裏板を回転

お願い 2

●ブラケット裏板は柱溝にはまるように横にしてください。

3:中間ブラケットを上桟に上から押しつけながら柱に【4a】φ5×10ナベタッピンネジ3種 D=9で固定

4:すきま隠し材を上桟に貼付け

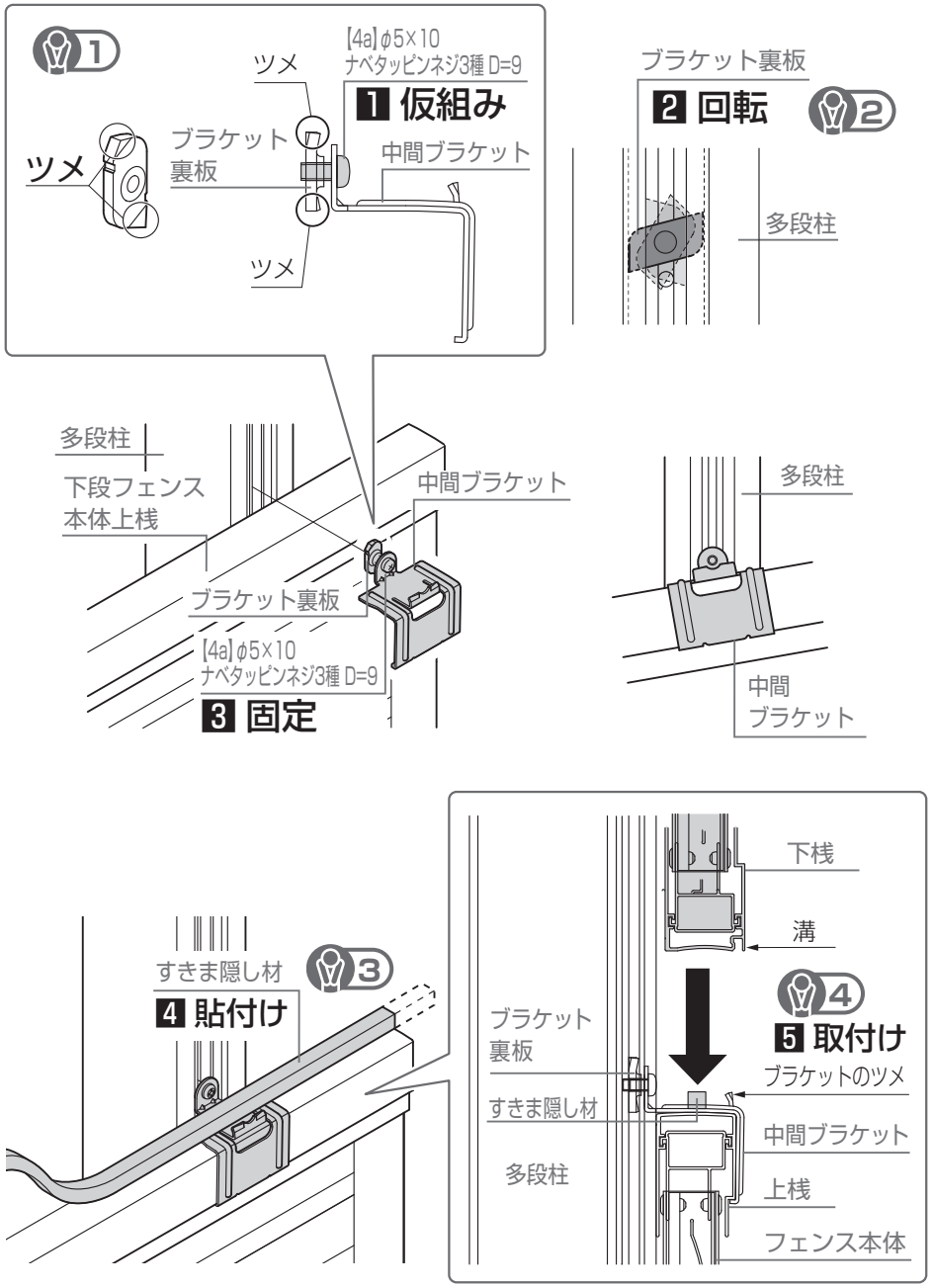
お願い 3

●すきま隠し材は上段フェンスを設置する前に貼付けてください。
●すきま隠し材を貼付け後、上桟の端部に合わせてはみ出した部分を切断してください。

5:上段フェンスの下桟を中間ブラケットにはめ込み

お願い 4

●位置を確認してフェンス本体を取付けてください。一度ツメが下桟の溝に入ると抜けづらくなります。
●フェンス本体を外す際は下桟小口面をゴムハンマー等で叩いて中間ブラケットのツメを外し、フェンス本体を持ち上げて取外してください。



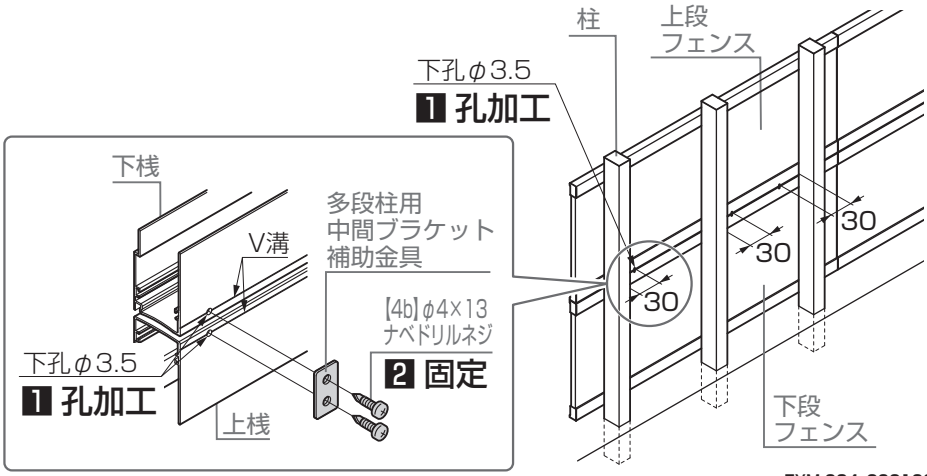
6 中間ブラケット補助金具の取付け ※アルミ多段柱の場合のみ取付けてください。

1:上下桟のV溝にφ3.5mmの下孔を加工

2:多段柱用中間ブラケット補助金具を上下桟に【4b】φ4×13ナベドリルネジで固定

お願い

●多段柱用中間ブラケット補助金具は、柱から30mm以内の場所に必ず1個上下のフェンスを固定してください。
多段柱中間ブラケット補助金具を付けないとフェンスが外れる場合があります。



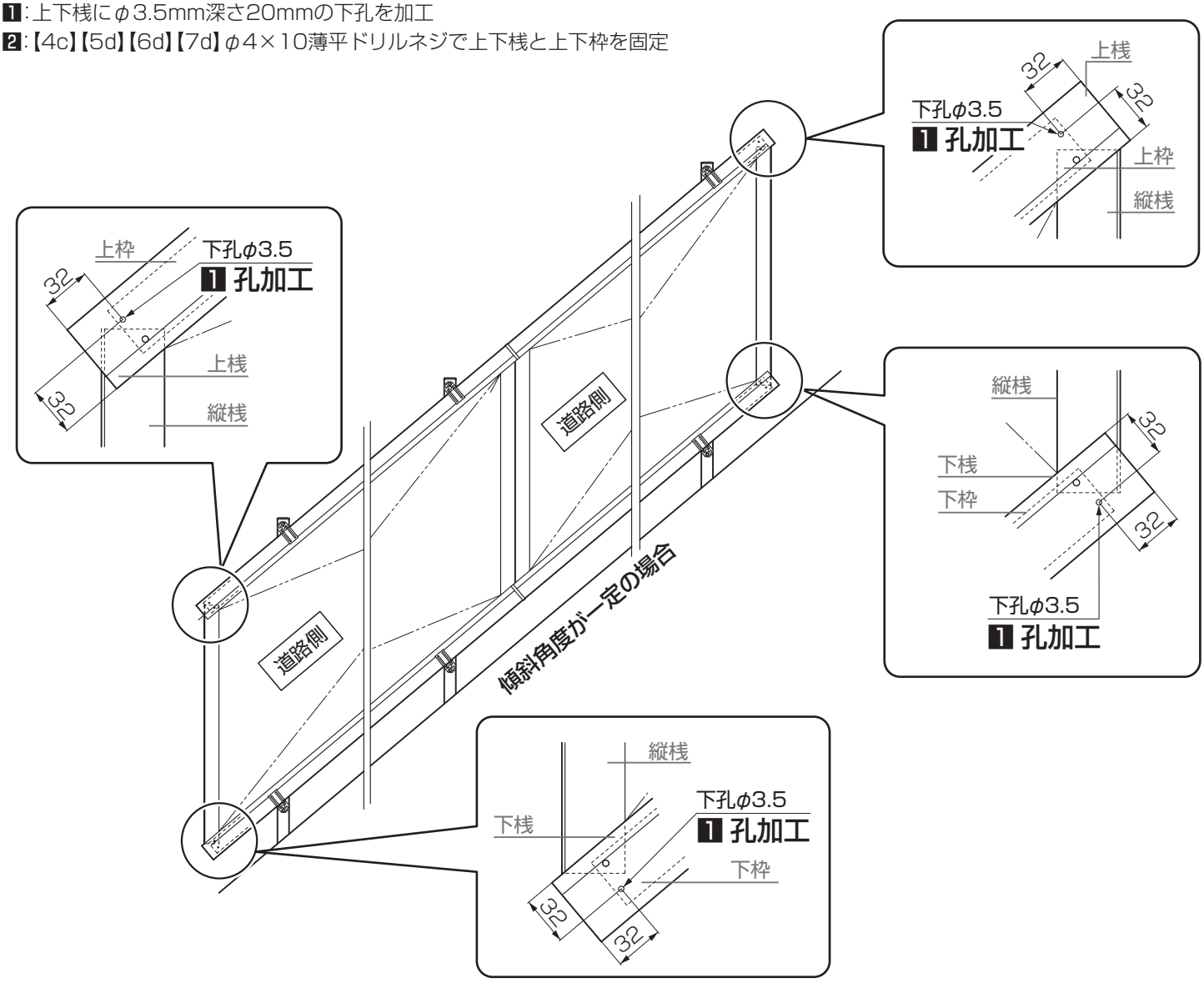
EXM-034_202103

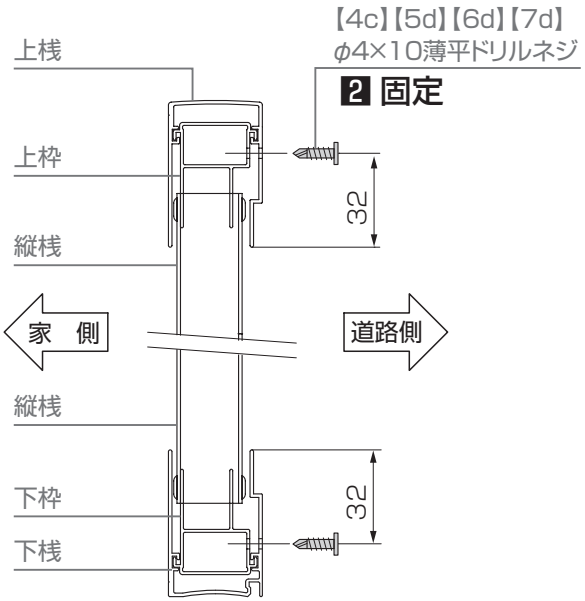
7 上下桟のズレ止め

お願い

- ●上下桟に上下桟ズレ止めのネジを取付けてください。ネジを付けないと縦桟がズレる場合があります。
- ●傾斜角度が一定の場合は、パネル端部のみ取付けてください。
- ●傾斜角度が一定の場合は【4c】【5d】【6d】【7d】φ4×10薄平ドリルネジは余ります。

1:上下桟にφ3.5mm深さ20mmの下孔を加工
2:【4c】【5d】【6d】【7d】φ4×10薄平ドリルネジで上下桟と上下枠を固定

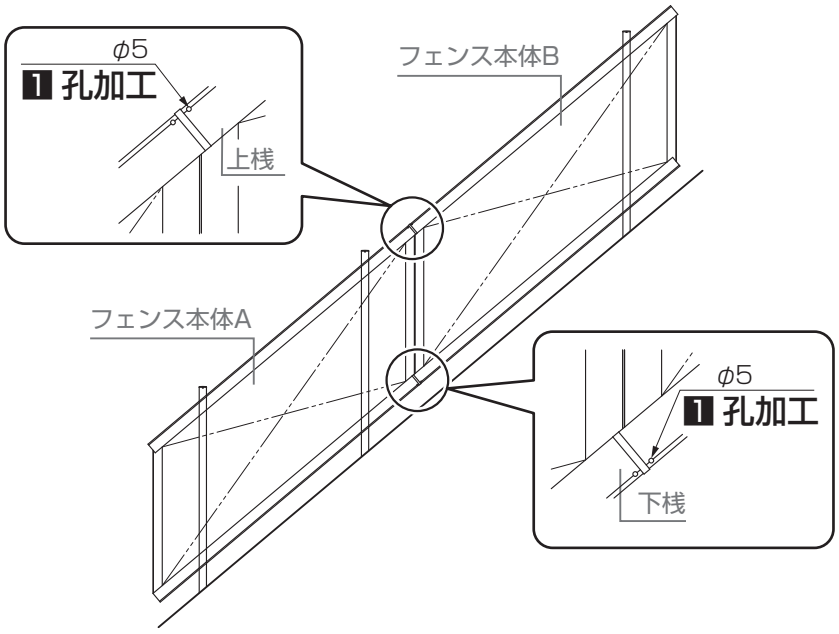




8 本体の連結とエンドカバーの取付け

8-1 傾斜角度が一定の場合の連結

8-1-1 上下桟の孔加工



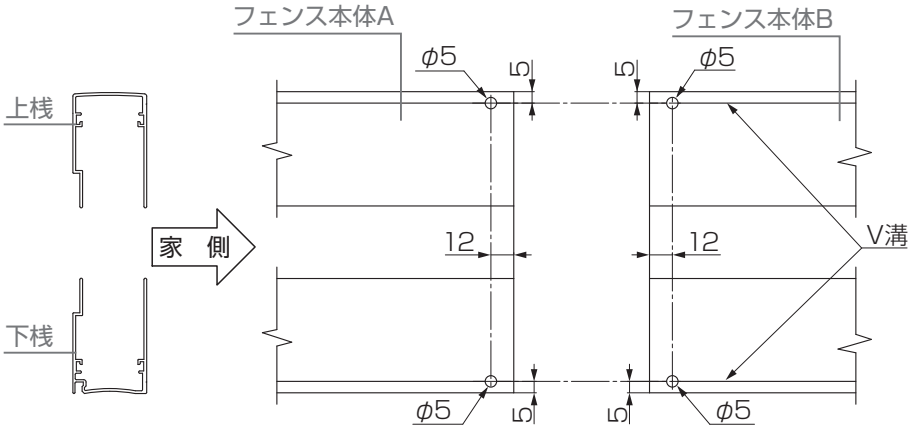
お願い

●傾斜角度が一定の場合は、上桟・下桟それぞれに連結部材取付用の孔加工をしてください。

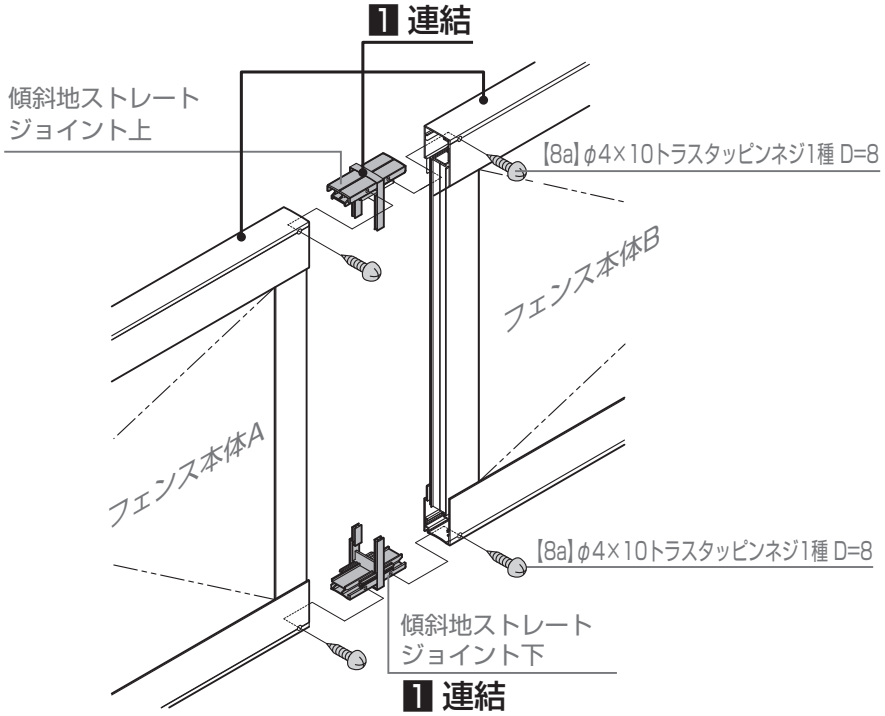
1:フェンス本体Aおよびフェンス本体Bの上桟･下桟にφ5mmの孔加工

お願い

●孔加工は、上桟・下桟の端から12mmのV溝に行なってください。
●φ5mmの孔加工は家側のみに行ないます。



8-1-2 傾斜地ストレートジョイントの取付け



1:上桟･下桟に各ストレートジョイントを差し込み、【8a】φ4×10トラスタッピンネジ1種 D=8でフェンス本体を連結

8-2 連結カバーとエンドカバーの加工

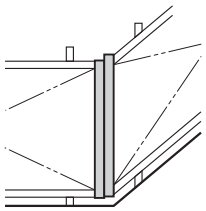
お願い

▼ 標準の場合 ▼

●次の手順に進み施工してください。

8-2-1 連結カバーとエンドカバーの切断（標準の場合）

以降は説明書の順に施工してください。

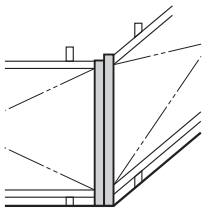


▼ 下桟すきまカバーを取付ける場合 ▼

●次の手順に進み施工してください。

8-2-2 連結カバーとエンドカバーの切断（下桟すきまカバーを付ける場合）

以降は説明書の順に施工してください。



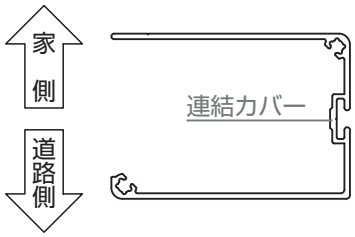
8-2-1 連結カバーとエンドカバーの切断（標準の場合）

1：切断寸法表を参照して、連結カバーを傾斜角度の寸法で切断

お願い

●連結カバーには、家側・道路側の区別があります。

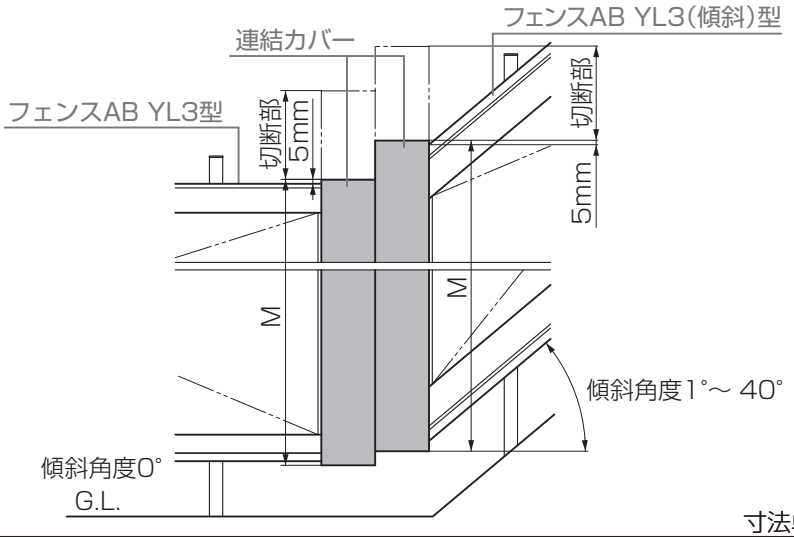
※形材の断面で判断してください。



お願い

●フェンスAB YL3（傾斜）型の端部にはエンドカバーを必ず付けてください。

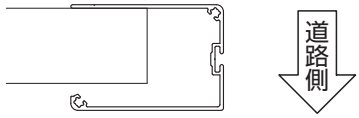
▼ 連結カバー・エンドカバー切断寸法表（下桟すきまカバーが付かない場合） ▼



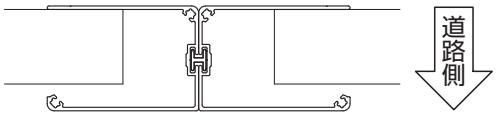
寸法単位 mm

	傾斜角度(θ) / サイズ	切断長(M)								
		0°	1～5°	6～10°	11～15°	16～20°	21～25°	26～30°	31～35°	36～40°
フリーポール柱	T-6	550	553	556	559	563	567	571	576	582
	T-8	750	753	756	759	763	767	771	776	782
	T-10	950	953	956	959	963	967	971	976	982
	T-12	1150	1153	1156	1159	1163	1167	1171	1176	1182
多段柱	T-12	1093	1096	1100	1105	1111	1118	1126	1136	1149
	T-14	1293	1296	1300	1305	1311	1318	1326	1336	1349
	T-16	1493	1496	1500	1505	1511	1518	1526	1536	1549
	T-18	1693	1696	1700	1705	1711	1718	1726	1736	1749
	T-20	1893	1896	1900	1905	1911	1918	1926	1936	1949
	T-22	2093	2096	2100	2105	2111	2118	2126	2136	2149
	T-24	2293	2296	2300	2305	2311	2318	2326	2336	2349
	T-26	2436	2440	2445	2451	2459	2469	2481	2496	2516
	T-28	2636	2640	2645	2651	2659	2669	2681	2696	2716
	T-30	2836	2840	2845	2851	2859	2869	2881	2896	2916

▼ エンドカバーの場合▼

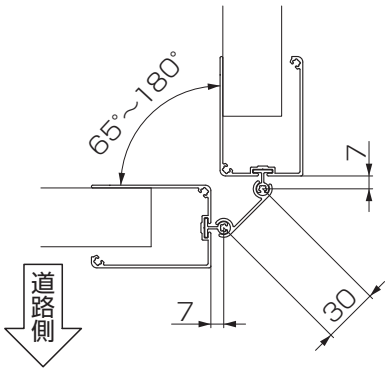


▼ 連結カバーの場合▼

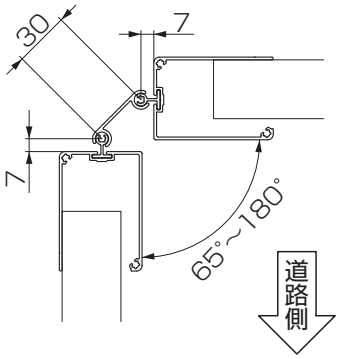


▼ 連結コーナーカバーの場合▼

●出隅の場合



●入隅の場合



8-2 連結カバーとエンドカバーの加工

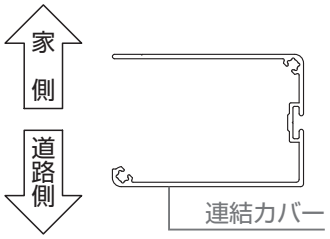
つづき

8-2-2 連結カバーとエンドカバーの切断（下桟すきまカバーを付ける場合）

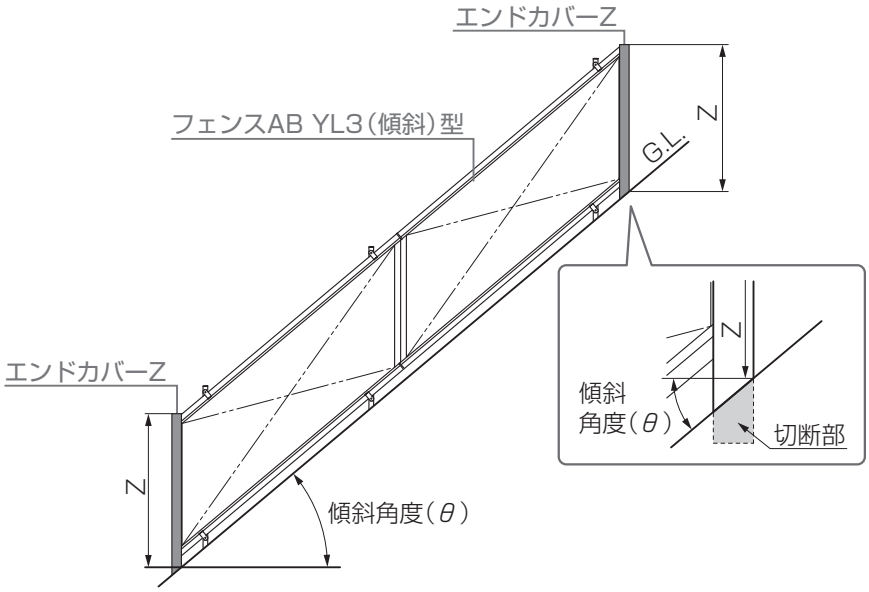
1：下記の表を参照して、連結カバーの上下をそれぞれの傾斜角度の寸法で切断

お願い

●連結カバーには、家側・道路側の区別があります。形材の断面で判断してください。



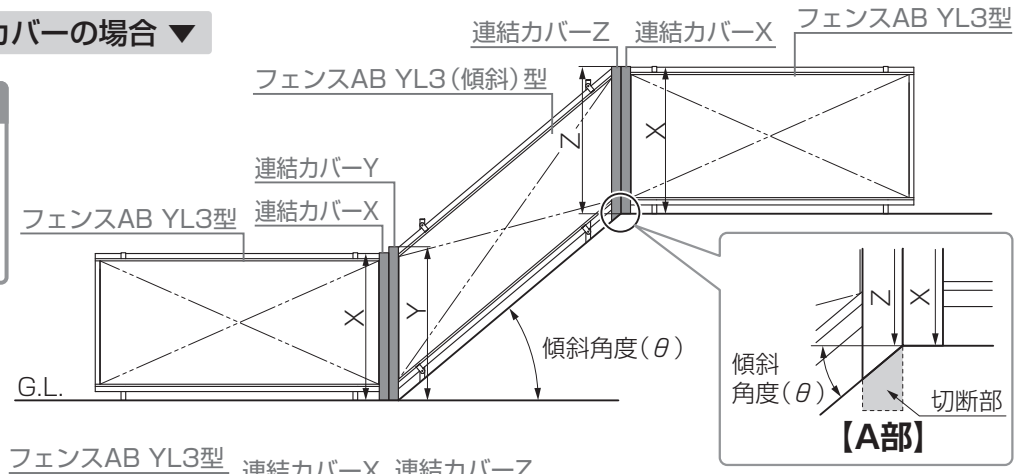
▼ エンドカバーの場合 ▼

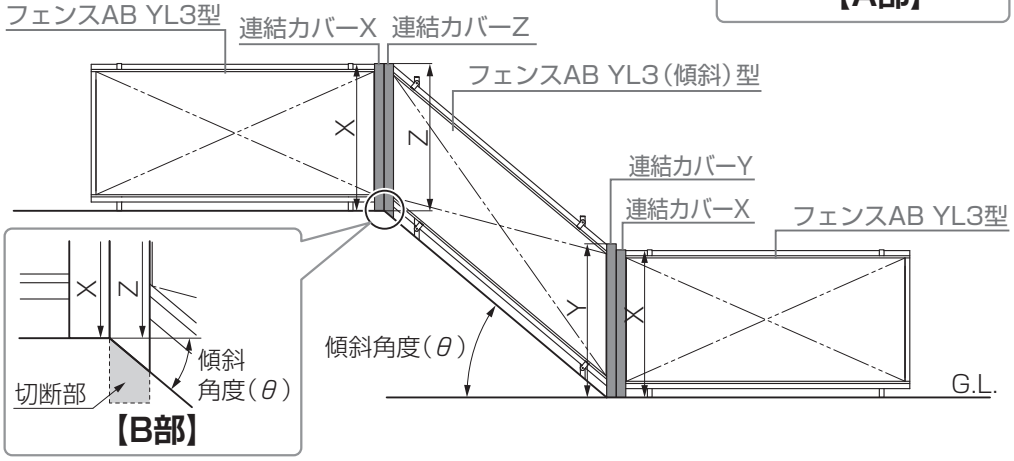


▼ 連結カバー／連結コーナーカバーの場合 ▼

お願い

●上り傾斜～平地（A部）／平地～下り傾斜（B部）となる場合は、傾斜地側の下部を傾斜に合わせて斜めに切断してください。





8-2 連結カバーとエンドカバーの加工 つづき

8-2-2 連結カバーとエンドカバーの切断（下桟すきまカバーを付ける場合） つづき

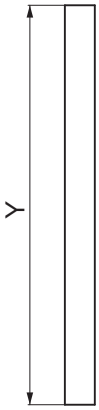
●連結カバー・エンドカバー切断寸法表（下桟すきまカバーが付く場合）

▼ 連結カバーX　傾斜0°（平地の場合） ▼

寸法単位 mm

	サイズ	切断長（X）
フリーポール柱	T-6	605
	T-8	805
	T-10	1005
	T-12	1205
多段柱	T-12	1205
	T-14	1405
	T-16	1605
	T-18	1805
	T-20	2005
	T-22	2205
	T-24	2405
	T-26	2548
	T-28	2748
	T-30	2948

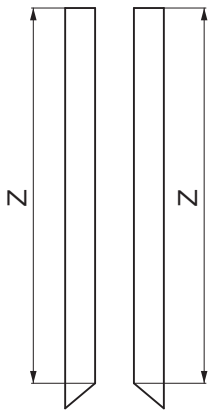
▼ 連結カバーY　傾斜1°～40°（平地～上り／下り～平地の場合） ▼



寸法単位 mm

	傾斜角度（θ）／サイズ	切断長（Y）							
		1～5°	6～10°	11～15°	16～20°	21～25°	26～30°	31～35°	36～40°
フリーポール柱	T-6	606	607	610	614	619	626	635	646
	T-8	806	807	810	814	819	826	835	846
	T-10	1006	1007	1010	1014	1019	1026	1035	1046
	T-12	1206	1207	1210	1214	1219	1226	1235	1246
多段柱	T-12	1206	1209	1214	1222	1233	1247	1264	1287
	T-14	1406	1409	1414	1422	1433	1447	1464	1487
	T-16	1606	1609	1614	1622	1633	1647	1664	1687
	T-18	1806	1809	1814	1822	1833	1847	1864	1887
	T-20	2006	2009	2014	2022	2033	2047	2064	2087
	T-22	2206	2209	2214	2222	2233	2247	2264	2287
	T-24	2406	2409	2414	2422	2433	2447	2464	2487
	T-26	2549	2553	2560	2570	2584	2602	2624	2654
	T-28	2749	2753	2760	2770	2784	2802	2824	2854
	T-30	2949	2953	2960	2970	2984	3002	3024	3054

▼ 連結カバーZ／エンドカバーZ　傾斜1°～40°（上り～平地／平地～下りの場合） ▼



寸法単位 mm

	傾斜角度（θ）／サイズ	切断長（Z）							
		1～5°	6～10°	11～15°	16～20°	21～25°	26～30°	31～35°	36～40°
フリーポール柱	T-6	603	601	599	598	598	598	599	601
	T-8	803	801	799	798	798	798	799	801
	T-10	1003	1001	999	998	998	998	999	1001
	T-12	1203	1201	1199	1198	1198	1198	1199	1201
多段柱	T-12	1203	1203	1204	1207	1211	1219	1228	1242
	T-14	1403	1403	1404	1407	1411	1419	1428	1442
	T-16	1603	1603	1604	1607	1611	1619	1628	1642
	T-18	1803	1803	1804	1807	1811	1819	1828	1842
	T-20	2003	2003	2004	2007	2011	2019	2028	2042
	T-22	2203	2203	2204	2207	2211	2219	2228	2242
	T-24	2403	2403	2404	2407	2411	2419	2428	2442
	T-26	2546	2547	2550	2555	2562	2574	2589	2609
	T-28	2746	2747	2750	2755	2762	2774	2789	2809
	T-30	2946	2947	2950	2955	2962	2974	2989	3009

8-3 連結カバーとエンドカバーの取付け

8-3-1 エンドカバーの取付け

1：上下桟のV溝と、エンドカバーのV溝の交点にφ3.5の下孔を加工

お願い 1

●上下桟のV溝を目印にしてください。

2：下側の傾斜地キャップBをエンドカバーに【9a】φ4×15ナベタッピンネジ2種（ガイド付き）で取付け

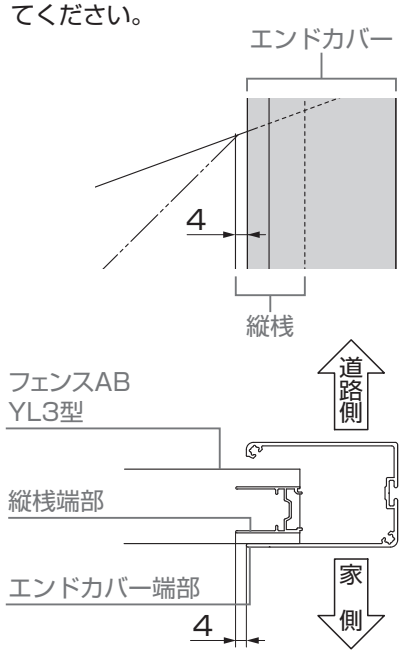
お願い

●必ず下側の傾斜地キャップBを先に取付けてください。エンドカバーを取付けた後だと下側の傾斜地キャップBの取付けが出来なくなります。

3：エンドカバーと上下桟を【9b】φ4×13.5 薄平ドリルネジ3種 D=7で取付け

お願い 2

●フェンス本体とエンドカバーを組立てる際は、エンドカバー端部から縦桟端部の距離が4mmになるようにしてください。



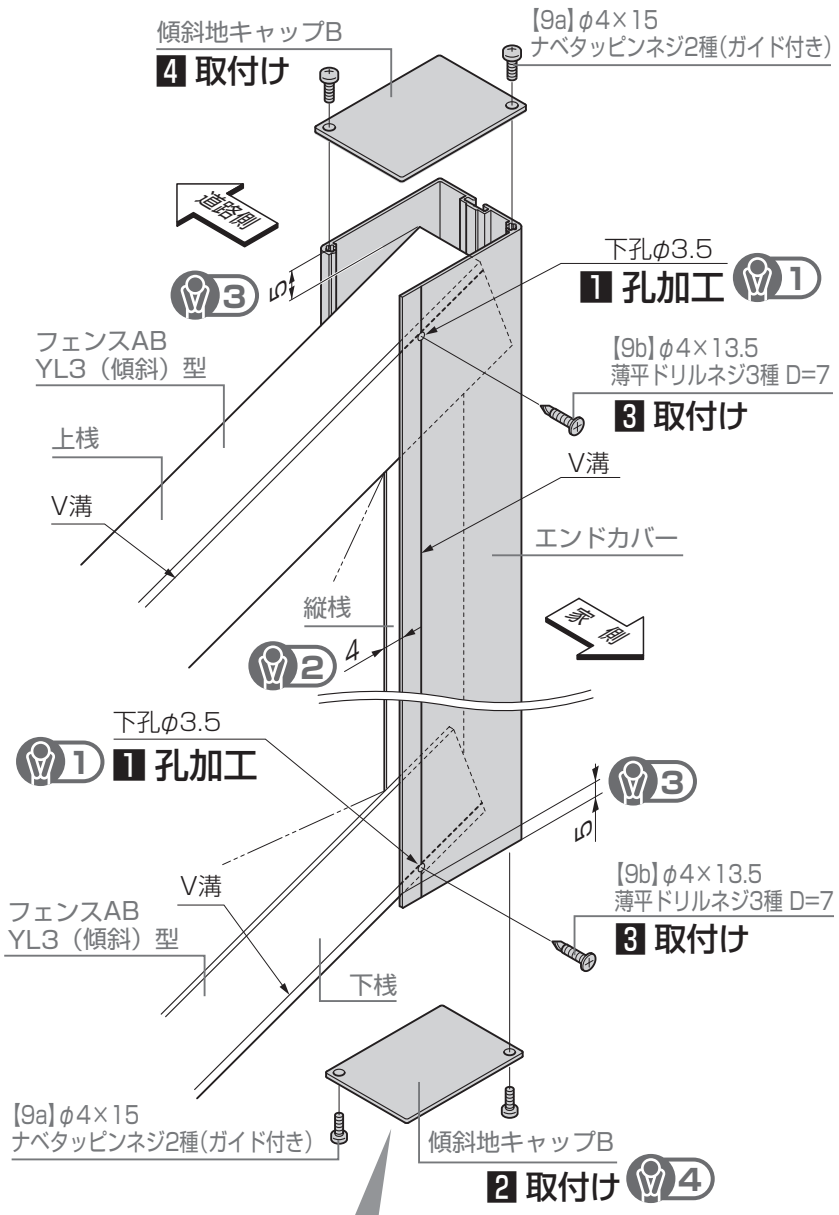
お願い 3

●フェンス本体とエンドカバー端部との距離は5mmにしてください。

▼ 下桟すきまカバーを付ける場合 ▼

下桟側のエンドカバーはG.L.に密着します。

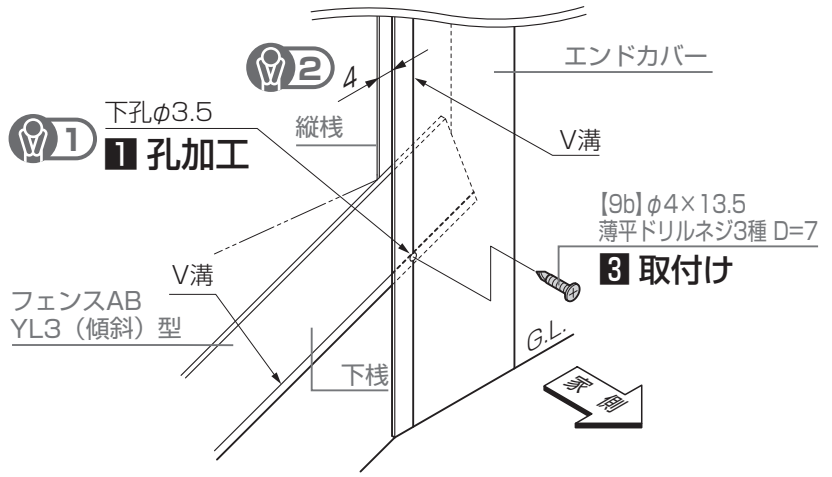
4：上側の傾斜地キャップBをエンドカバーに【9a】φ4×15ナベタッピンネジ2種（ガイド付き）で取付け



お願い 4

▼ 下桟すきまカバーを付ける場合 ▼

●エンドカバーがG.L.に密着しているため、下側は傾斜地キャップBは不要です。

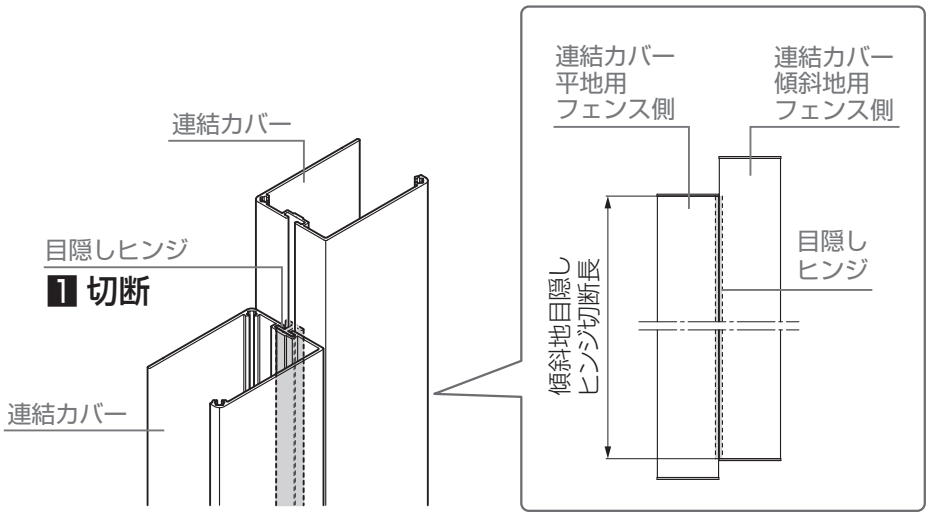


8-3 連結カバーとエンドカバーの取付け

8-3-2 連結カバーの組付け

（1）目隠しヒンジの切断

1:目隠しヒンジを傾斜地目隠しヒンジ切断長に合わせて、切断



（2）連結カバーの組立て

1:下側の傾斜地キャップBを連結カバーに【10a】φ4×15ナベタッピンネジ2種（ガイド付き）で取付け

お願い

●必ず下側の傾斜地キャップBを先に取付けてください。エンドカバーを取付けた後だと下側の傾斜地キャップBの取付けが出来なくなります。

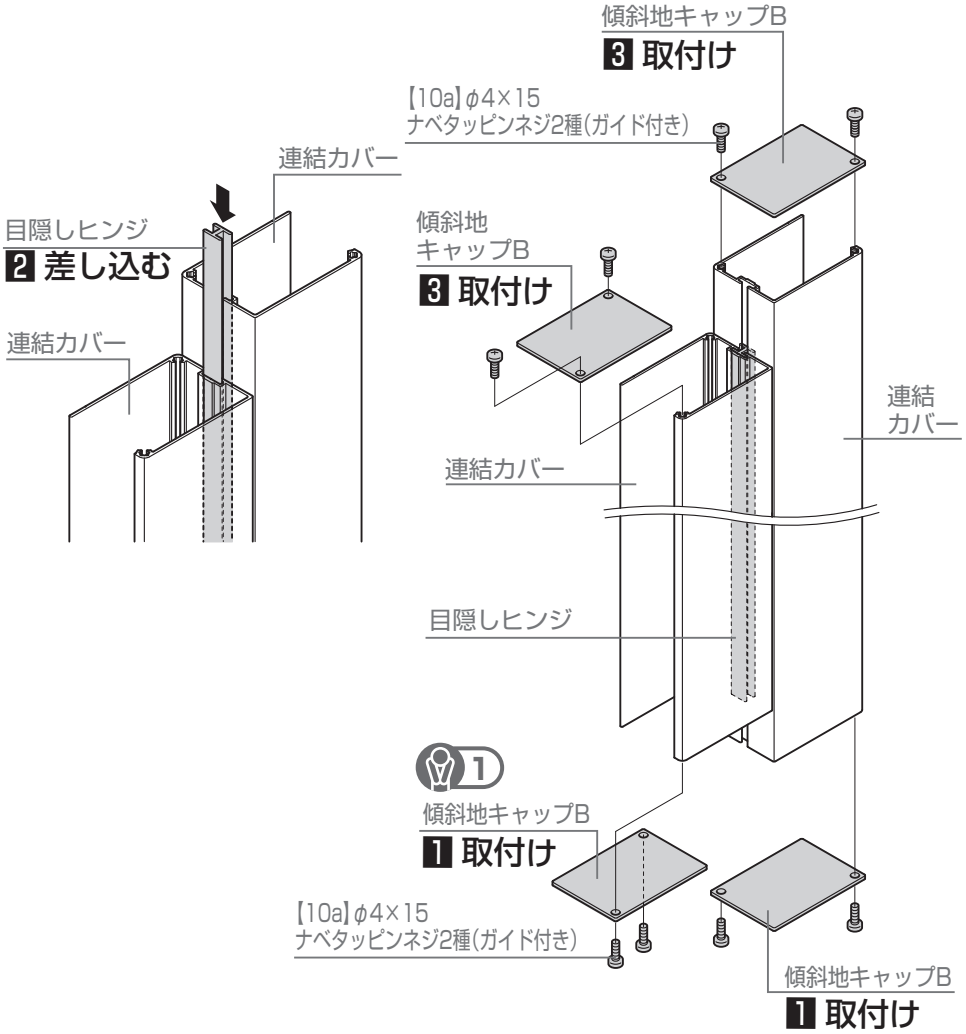
2:目隠しヒンジを連結カバーに差し込む

3:下側の傾斜地キャップBを連結カバーに【10a】φ4×15ナベタッピンネジ2種（ガイド付き）で取付け

お願い 1

▼ 下桟すきまカバーを付ける場合 ▼

●連結カバーがG.L.に密着しているため、下側は傾斜地キャップBは不要です。



8-3 連結カバーとエンドカバーの取付け

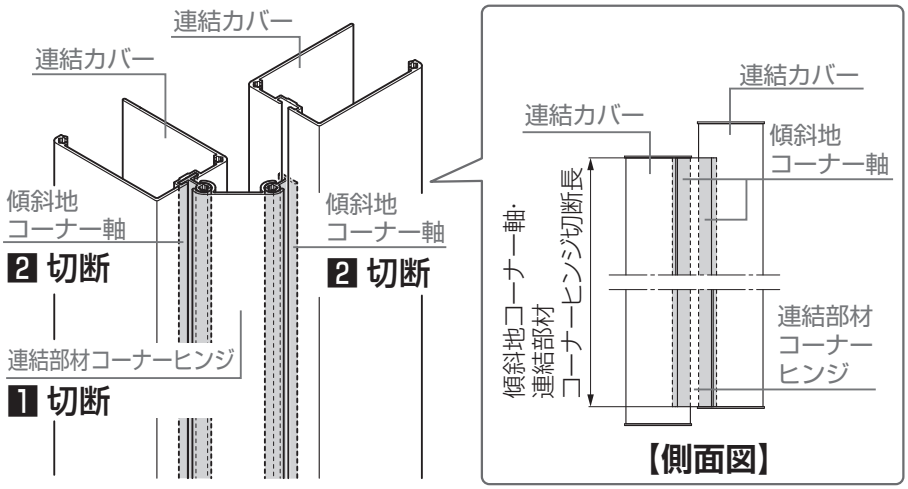
つづき

8-3-3 連結コーナーカバーの組付け

（1）連結部材コーナーヒンジと傾斜地コーナー軸の切断

1:連結部材コーナーヒンジを傾斜地コーナー軸･連結部材コーナーヒンジ切断長に合わせて切断

2:傾斜地コーナー軸を傾斜地コーナー軸･連結部材コーナーヒンジ切断長に合わせて切断



（2）連結コーナーカバーの組立て

1:下側の傾斜地キャップBを連結カバーに【11a】φ4×15ナベタッピンネジ2種（ガイド付き）で取付け

お願い

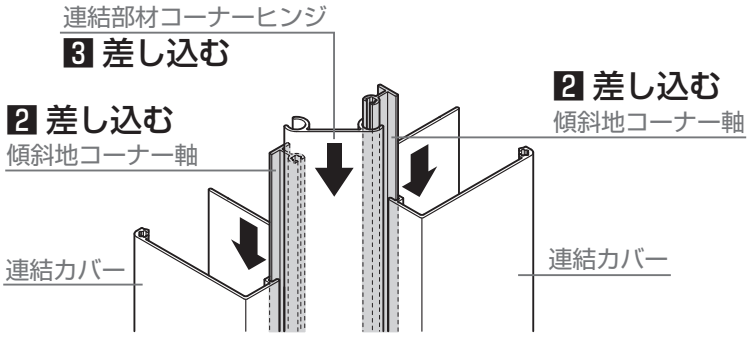
●必ず下側の傾斜地キャップBを先に取付けてください。エンドカバーを取付けた後だと下側の傾斜地キャップBの取付けが出来なくなります。

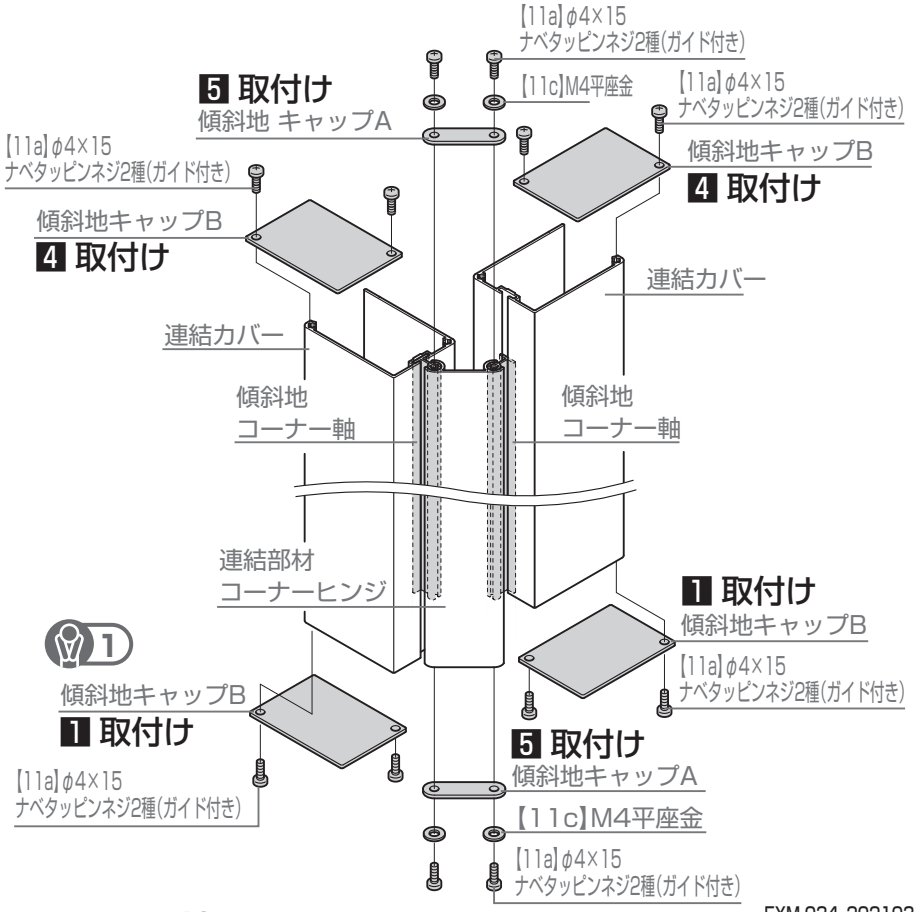
2:傾斜地コーナー軸を連結カバーに差し込む

3:連結部材コーナーヒンジを傾斜地コーナー軸に差し込む

4:上側の傾斜地キャップBを連結カバーに【11a】φ4×15ナベタッピンネジ2種（ガイド付き）で取付け

5:傾斜地キャップAを連結部材コーナーヒンジに【11a】φ4×15ナベタッピンネジ2種（ガイド付き）【11c】M4平座金で取付け

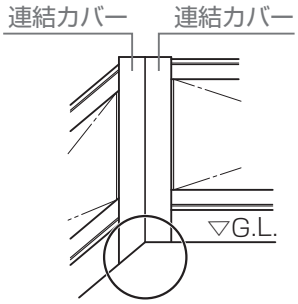




お願い 1

▼ 連結カバーがG.L.に密着している場合 ▼

●下側の傾斜地キャップBは不要です。



▼ 下桟すきまカバーを付ける場合 ▼

●連結カバーがG.L.に密着しているため、下側の傾斜地キャップBは不要です。

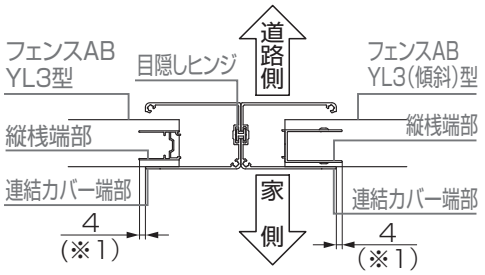
8-3 連結カバーとエンドカバーの取付け

8-3-4 連結カバーとフェンス本体の組付け

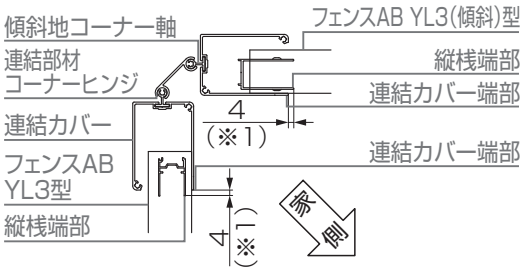
お願い

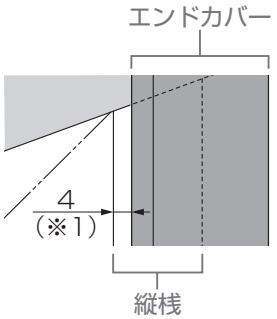
●フェンス本体と連結カバーを組立てる際は、連結カバー端部から縦桟端部の距離が4mmになるように設置してください。(※1)
●フェンス本体と連結カバー端部との距離は5mmで施工してください。(※2)
ただし、下桟すきまカバーを付ける場合は、下桟側の連結カバーはG.L.に密着します。
●フェンス本体と連結コーナーカバーの組付けの場合も、連結カバーと同様に行ってください。

▼ 連結カバーの場合 ▼



▼ 連結コーナーカバーの場合 ▼





1:フェンスの上下桟と連結カバーにφ3.5mmの下孔を加工

2:連結カバーと上下桟を【10b】【11b】φ4×13.5薄平ドリルネジ3種 D=7で取付け

お願い 1

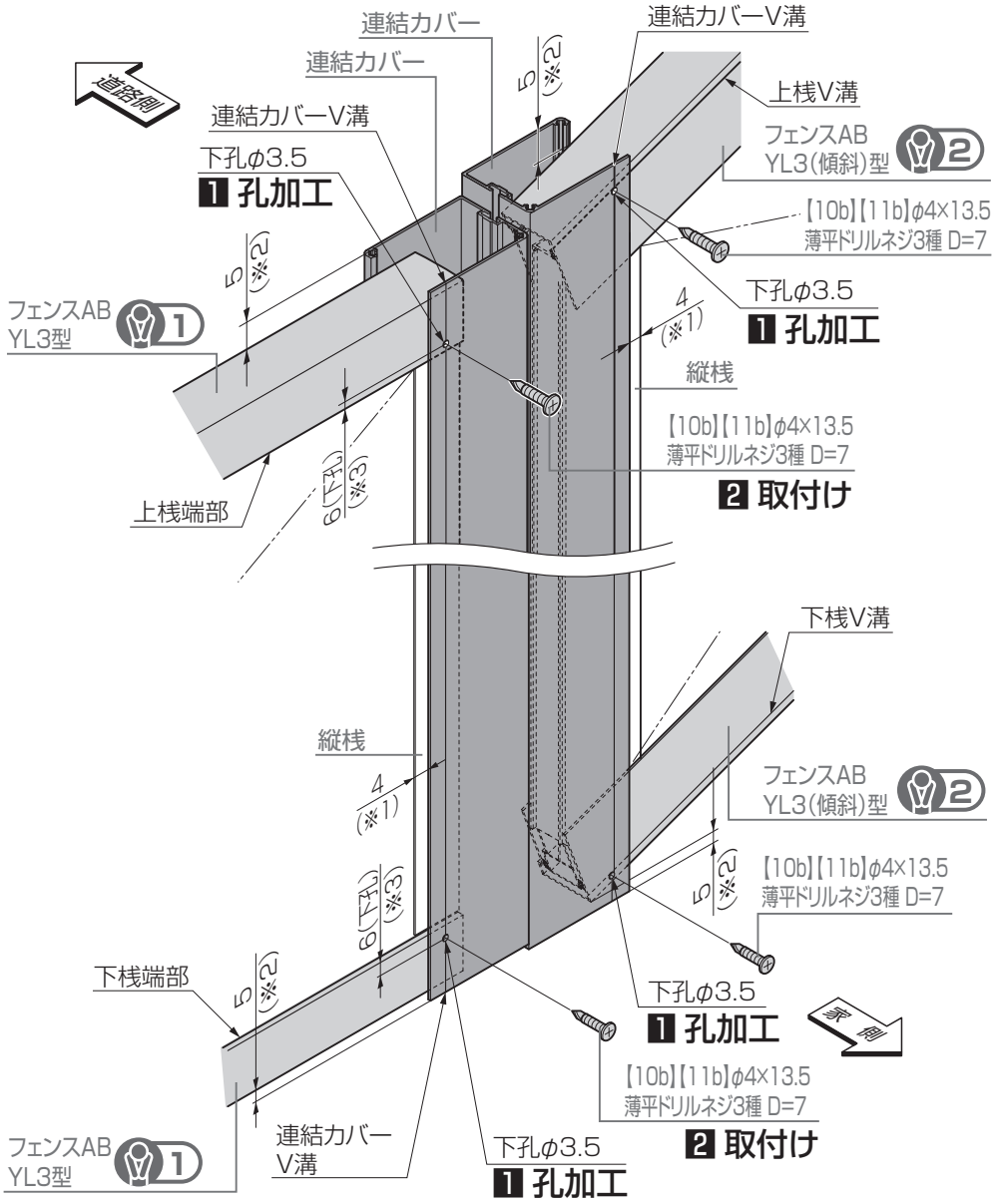
▼ 平地の場合
(フェンスAB YL3型) ▼

●上下桟端部から6mmと連結カバーのV溝の交点にφ3.5mmの孔加工をしてください。
●フェンスAB YL3型の上下桟端部から6mmを目印としてください。(※3)
●YL3型の連結部分には端部キャップは付きません。

お願い 2

▼ 傾斜地の場合
(フェンスAB YL3(傾斜)型) ▼

●上下桟のV溝と連結カバーのV溝の交点にφ3.5mmの孔加工をしてください。
●YL3(傾斜)型の上下桟のV溝を目印としてください。

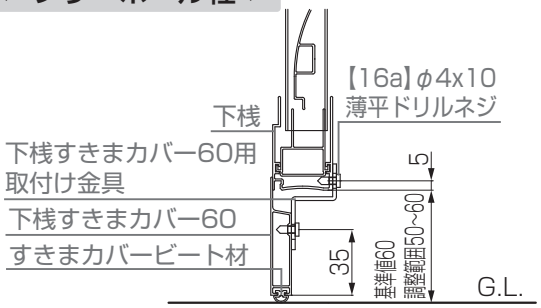


▲ 平地の場合 ▲　　▲ 傾斜地の場合 ▲

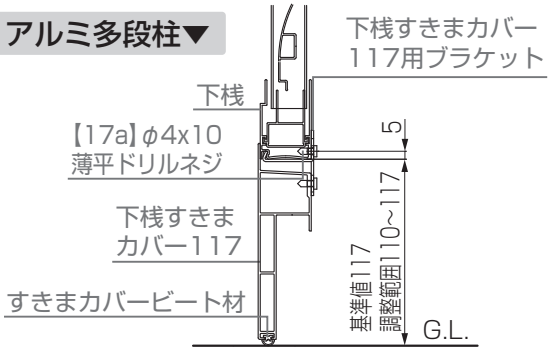
9 下桟すきまカバーの取付け

9-1 横断面図

▼ フリーポール柱▼



▼ アルミ多段柱▼



9-2 下桟すきまカバー本体の切断寸法の算出

お願い

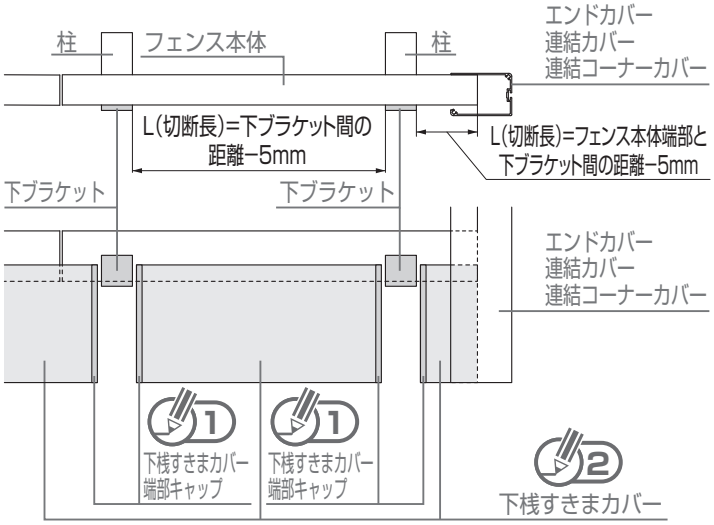
- 下桟すきまカバーを取付ける下ブラケット間の距離から5mm短くなるように下桟すきまカバーを切断してください。
- 下桟すきまカバーの切断寸法が40mm未満の場合は、すきまカバー端部キャップの取付けができないため、取付け不要です。

補 足 1

- 下桟すきまカバー端部キャップは、エンドカバー、連結カバー、連結コーナーカバー部には付きません。

補 足 2

- 下桟すきまカバーは、下ブラケットの間のみに取付けるため、すきまカバーの連結はありません。



9-3 下桟すきまカバー本体の切詰め

1:下桟すきまカバー 60または下桟すきまカバー 117を切断寸法位置で切詰め
2:すきまカバービート材を切詰め
3:下桟すきまカバー 60または下桟すきまカバー 117に孔加工

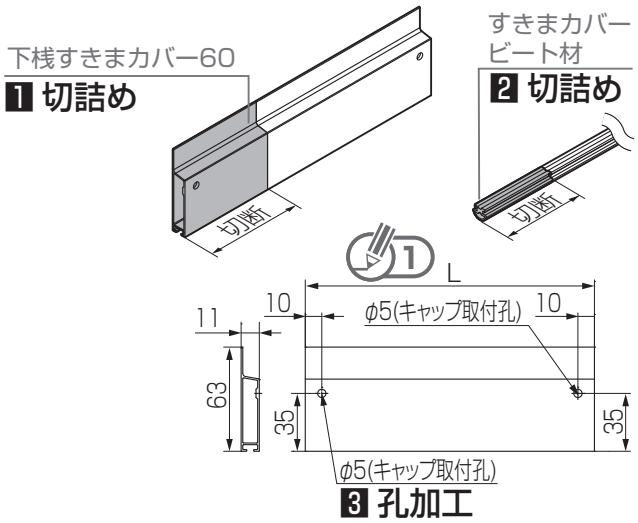
お願い 1

- すきまカバービート材は、下桟すきまカバー117本体から−10mmの位置で切断してください。
  すきまカバービート材の出荷時の長さは2050mmです。

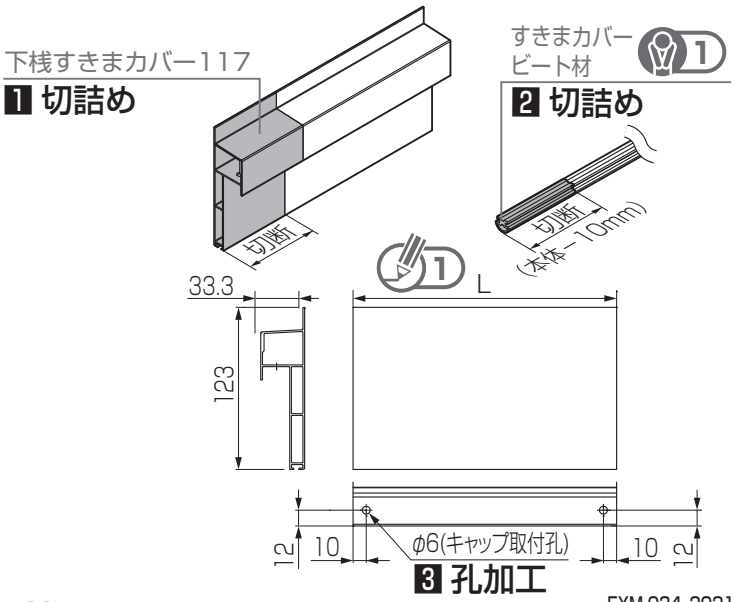
補 足 1

- 工場出荷時のLの長さは1997mmになります。

▼ 下桟すきまカバー60▼



▼ 下桟すきまカバー117▼



9-3 下桟すきまカバー本体の切詰め

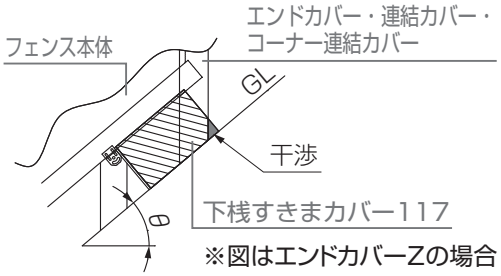
9-3-1 下桟すきまカバー117の場合

※下桟すきまカバー60の場合は 9-4 へ進んでください。

お願い

▼ 傾斜角度20度を超える場合▼

●下桟すきまカバー117の端部を斜めに切断をしないと、エンドカバー・連結カバー・連結コーナーカバーに干渉します。



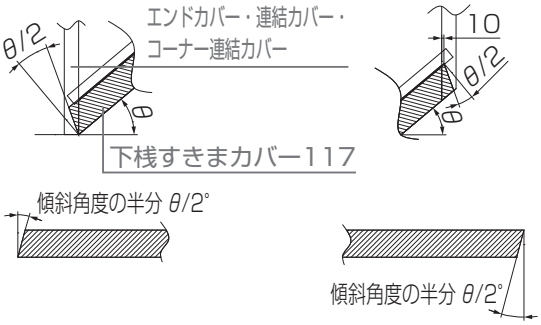
※図はエンドカバーZの場合

お願い

▼ YL3(傾斜)型の下桟すきまカバー117が、エンドカバー・連結カバー・連結コーナーカバー内部に収まる場合 ▼

●下桟すきまカバー117の端部を斜めに切断してください。

●傾斜角度20度を超える角度の場合は、端部を傾斜角度の半分の角度で切断してください。



9-4 すきまカバー端部キャップの取付け

注 意

●下桟すきまカバー端部キャップを必ず付けてください。ケガをするおそれがあります。
●下桟すきまカバー端部キャップを加工した際は、紙ヤスリ等で切断長のバリ取りを行ってください。バリ取りがなされていない面に触れた場合、ケガをするおそれがあります。

お願い

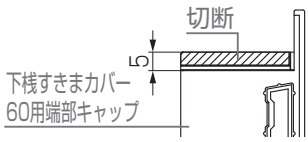
●下桟すきまカバー端部キャップは、エンドカバー、連結カバー、連結コーナーカバー部以外のすべての下桟すきまカバーの両端に取付けてください。エンドカバー、連結カバー、連結コーナーカバー部には付きません。

▼ 下桟すきまカバー60の場合▼

1:すきまカバービート材を下桟すきまカバー 60本体に差込む
2:下桟すきまカバー 60用端部キャップを、下桟すきまカバー 60本体に【14a】φ4×8サラタッピンネジ1種で取付け

お願い

●フェンス本体や柱と干渉する場合は、すきまカバー端部キャップを溝に沿って切断してください。

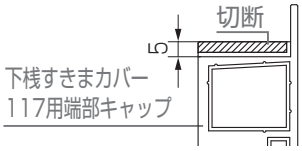


▼ 下桟すきまカバー117の場合▼

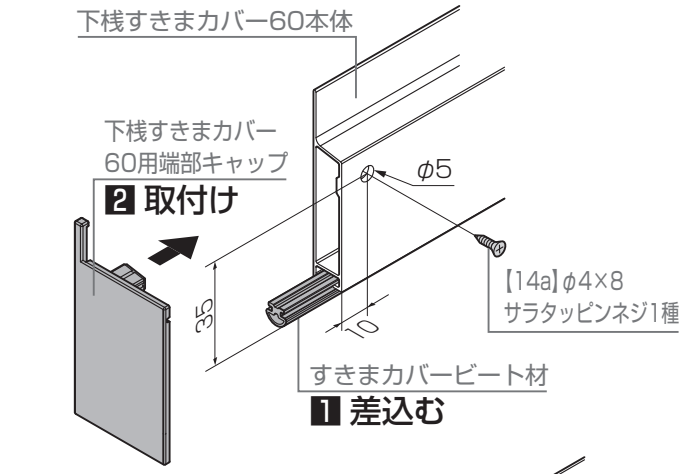
1:すきまカバービート材を下桟すきまカバー 117本体に差込む
2:下桟すきまカバー 117用端部キャップを、下桟すきまカバー117本体に【15a】φ3×10トラスタッピンネジ1種で取付け

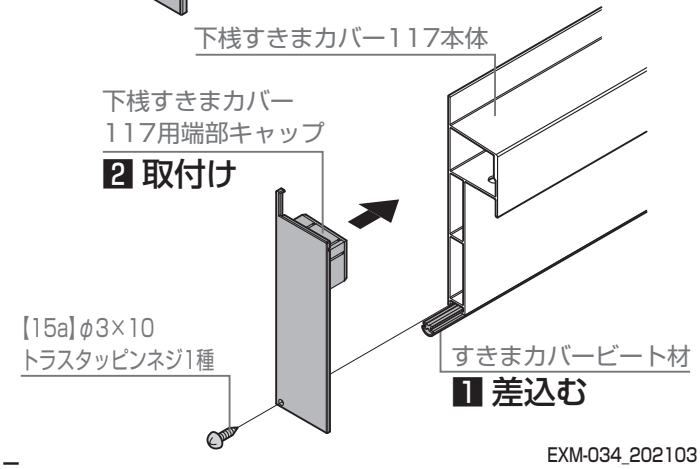
お願い

●フェンス本体や柱と干渉する場合は、すきまカバー端部キャップを溝に沿って切断してください。



●下桟すきまカバー117端部キャップは「パチン」と音がなるまで押し込んでください。





9-5 下桟すきまカバー60の取付け

1:すきまカバー60用取付金具を取り付ける位置を決め、下桟すきまカバー本体に下孔を加工

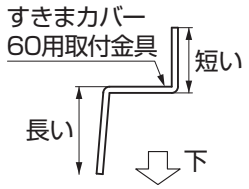
お願い 1

- 柱がすきまカバー60用取付金具と干渉するおそれがある場合は柱を避けた位置になるよう位置を決めてください。
- すきまカバー60用取付金具の間は、下桟すきまカバー本体に対しておおよそ均等になるよう位置を決めてください。

2:すきまカバー60用取付金具を、下桟すきまカバー本体に【16a】φ4×10薄平ドリルネジで仮止め

補 足 1

- すきまカバー60用取付金具には取付け向きがあります。



3:下桟に取り付ける位置を決め、下桟のV溝にφ3.5の下孔を加工

4:すきまカバー60用取付金具を回転して、下桟すきまカバー本体を下桟に【16a】φ4×10薄平ドリルネジで取付け

お願い 2

- フェンス本体へ完全に固定する際は、電動工具を使用しないでください。
  推奨トルク:1.0N・m±0.3N・m
  (10±3kgf·cm)

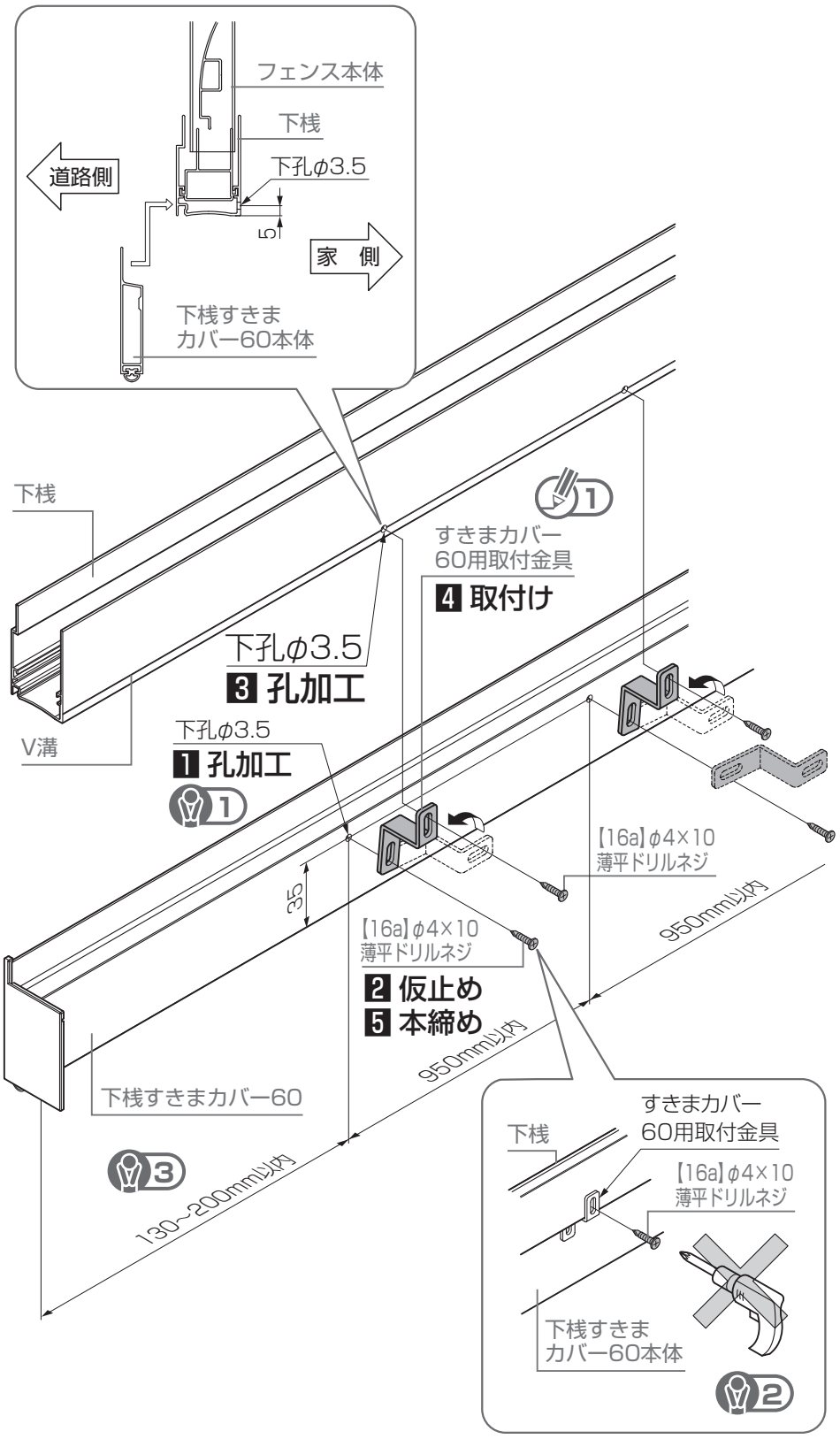
5:**2**で仮止めしていたすきまカバー60用取付金具を本締め

お願い

- 隙間を完全にふさぐため、下桟すきまカバーは軽く地面に押し付けた状態にしてください。

お願い 3

- すきまカバー60用取付金具を下桟すきまカバー60端部より130mm以内に取付けてしまうと、傾斜地目隠しプレートと干渉するおそれがあります。
  また、200mm以上離してしまうと、下桟すきまカバーが安定しないおそれがあります。



9-6 下桟すきまカバー117の取付け

1:すきまカバー117用ブラケットを取り付ける位置を決め、下桟のV溝にφ3.5の下孔を加工

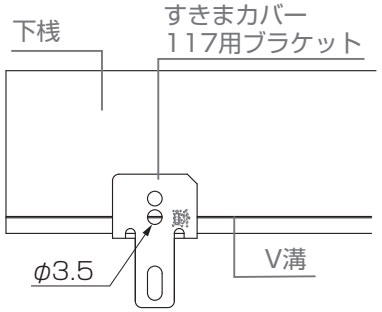
お願い 1

- 柱がすきまカバー117用ブラケットと干渉するおそれがある場合は、柱を避けた位置になるよう位置を決めてください。
- すきまカバー117用ブラケット間は、下桟すきまカバー本体に対しておおよそ均等になるよう位置を決めてください。

2:すきまカバー117用ブラケットを、下桟に【17a】φ4×10薄平ドリルネジで取付け

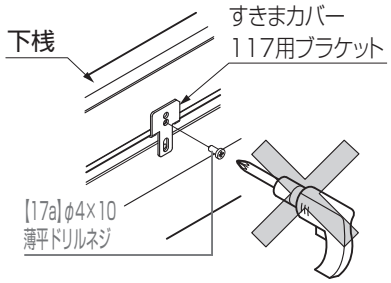
補 足 1

- すきまカバー117用ブラケット内側の「傾」の文字がある下側の孔にネジ止めしてください。



お願い 2

- フェンス本体へ完全に固定する際は、電動工具を使用しないでください。推奨トルク:1.0N·m±0.3N·m(10±3kgf·cm)

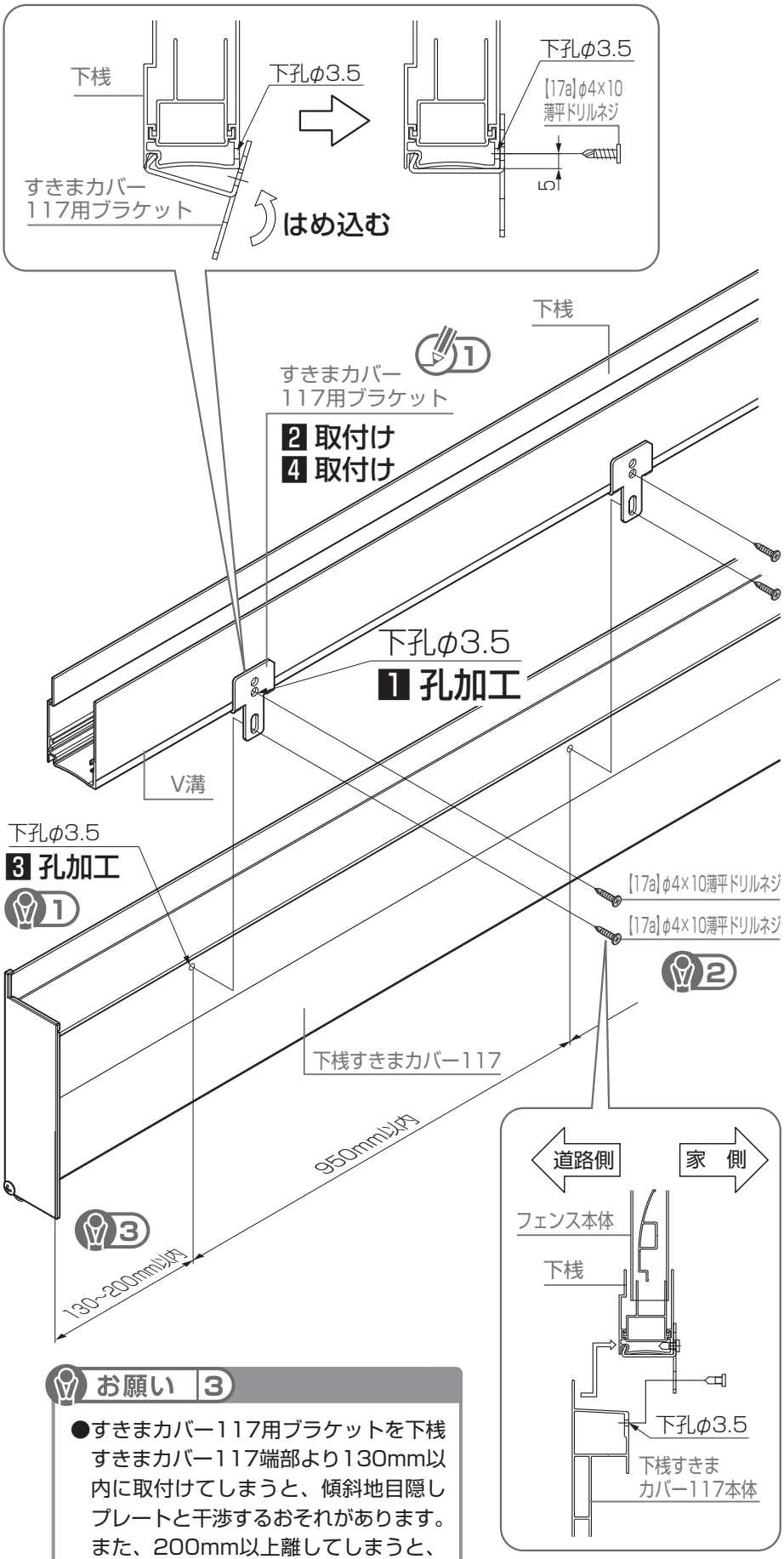


3:取付け位置が決まったら下桟すきまカバー 117にφ3.5の下孔を加工

4:下桟すきまカバー 117を下桟に【17a】φ4×10薄平ドリルネジで取付け

お願い

- 隙間を完全にふさぐため、下桟すきまカバーは軽く地面に押し付けた状態にしてください。



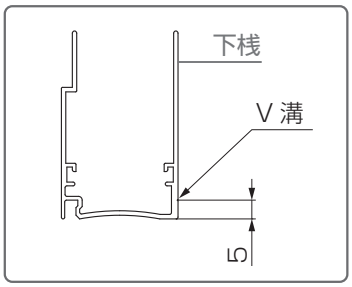
お願い 3

- すきまカバー117用ブラケットを下桟すきまカバー117端部より130mm以内に取付けてしまうと、傾斜地目隠しプレートと干渉するおそれがあります。また、200mm以上離してしまうと、下桟すきまカバーが安定しないおそれがあります。

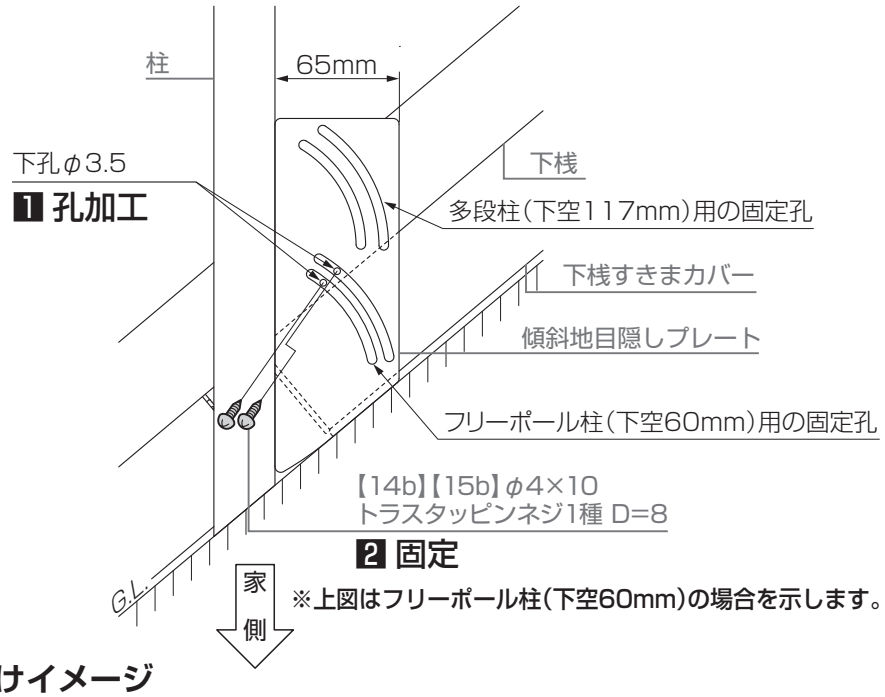
10 傾斜地目隠しプレートの取付け

10-1 傾斜地目隠しプレートの取付け

1：傾斜地目隠しプレートをG.L.と柱に突き合わせ、下桟V溝にφ3.5mmの下孔を加工

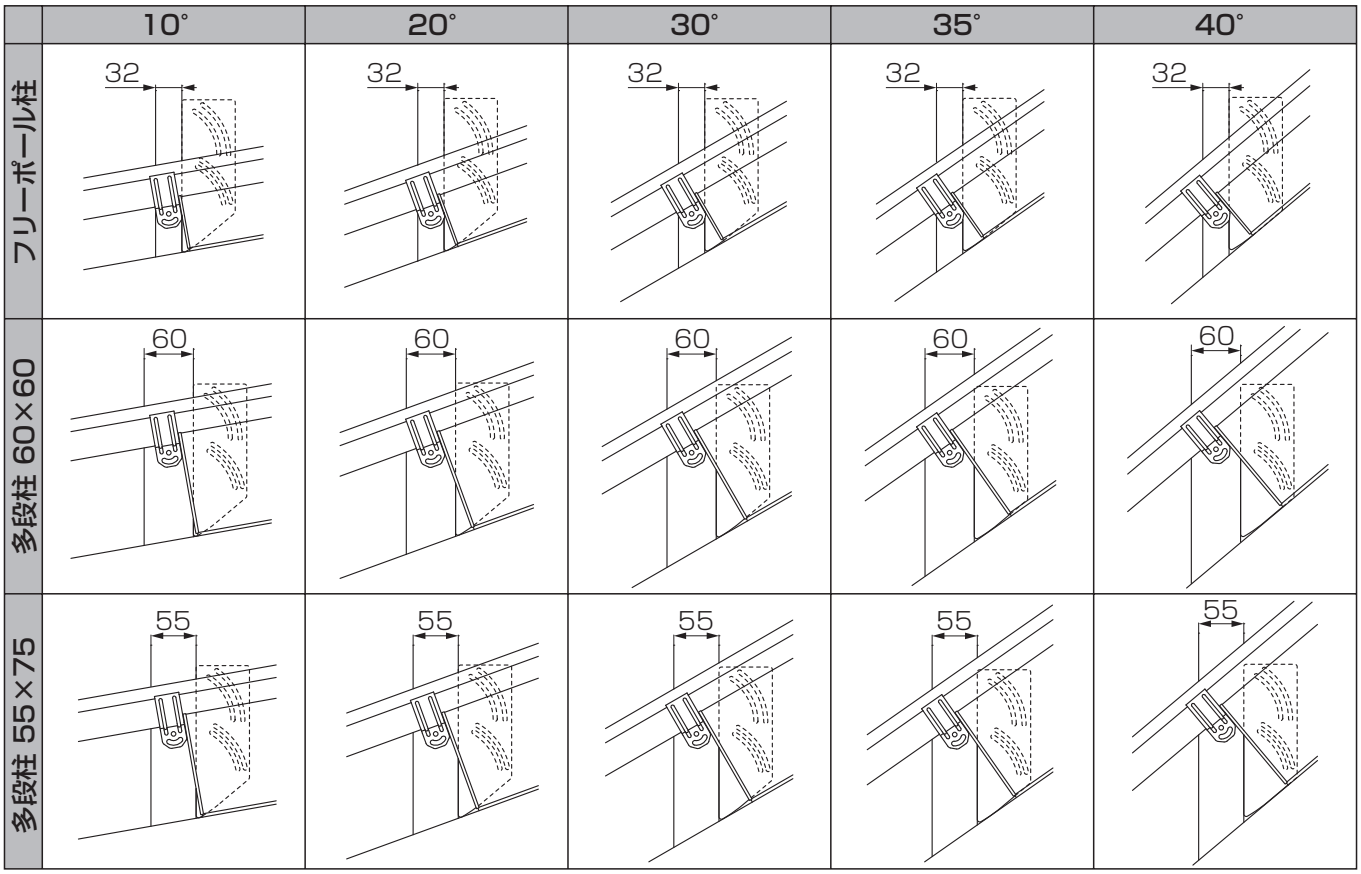


2：目隠しプレートを【14b】【15b】で固定



※上図はフリーポール柱（下空60mm）の場合を示します。

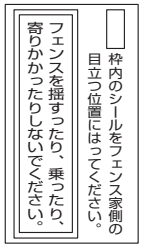
●角度別傾斜地目隠しプレート取付けイメージ



11 注意シールの貼付け

お願い

- ●必ず右記シールをフェンス家側の目立つ位置に貼ってください。
- ●注意シールは、端部キャップの梱包に入っています。



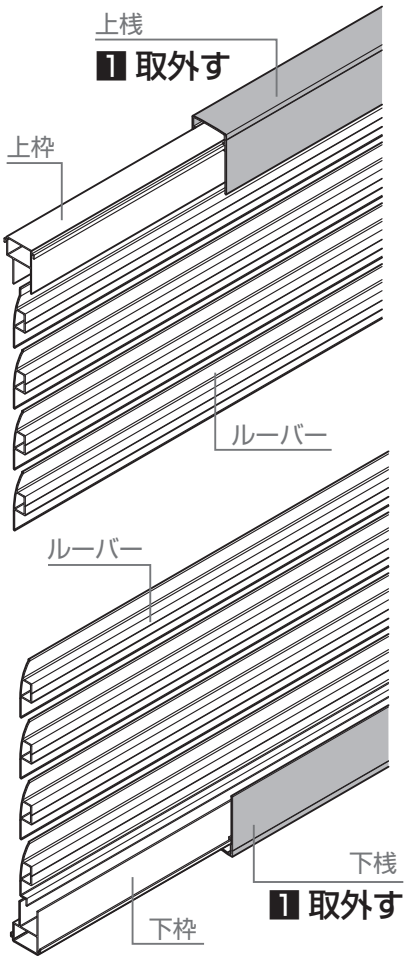
12 フェンス本体の切詰めおよび分割をする場合

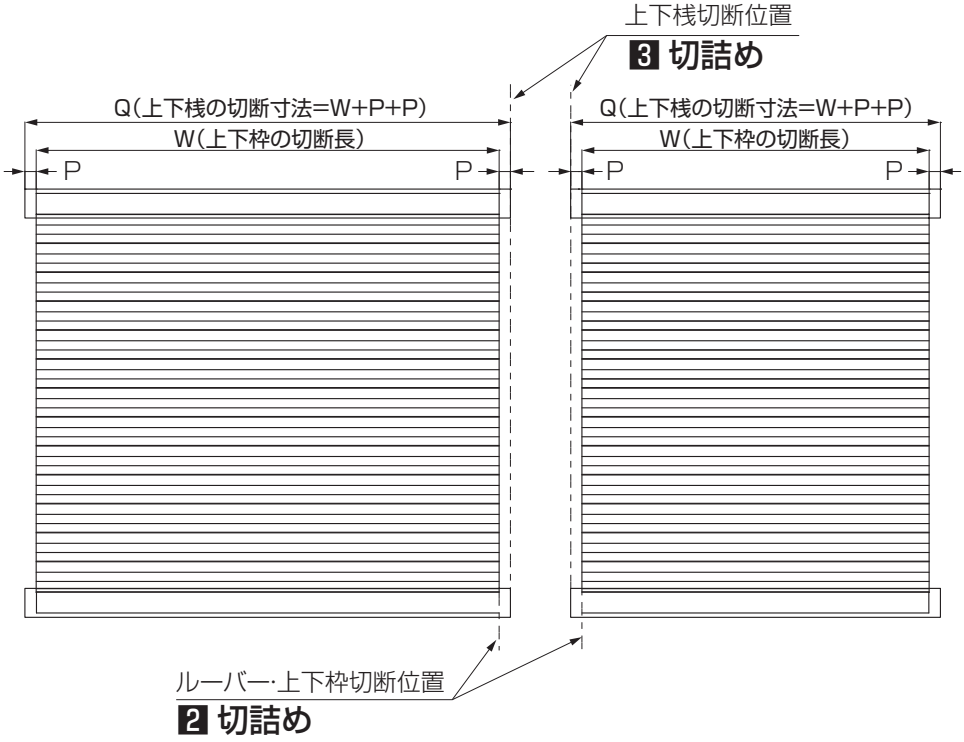
12-1 本体の切詰め

1:上下桟を取外す
2:ルーバーと上下枠を、ルーバー･上下枠切断位置で切詰め
3:上下桟を上下桟切断位置で切詰め

●上下桟･上下枠･ルーバー切断寸法表　寸法単位 mm

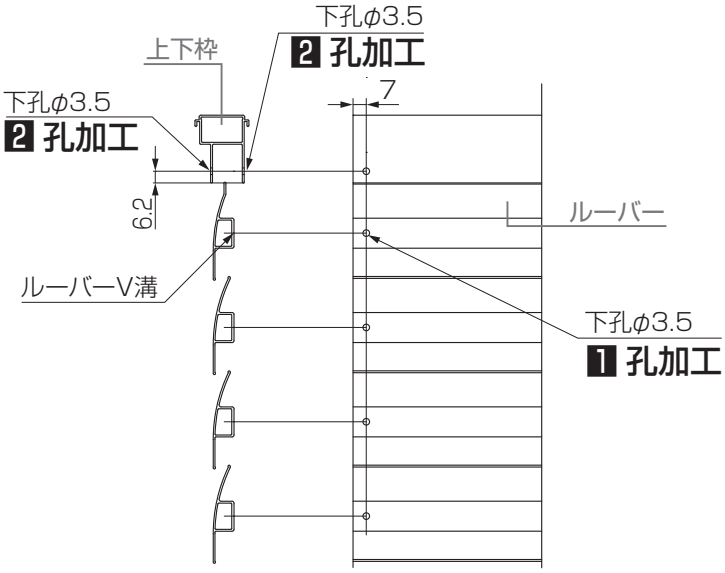
	0°	1～5°	6～10°	11～15°	16～20°	21～25°	26～30°	31～35°	36～40°
Q	39+W	39.5+W	40+W	41+W	42.5+W	44.5+W	47.5+W	51+W	56+W
P	19.5	19.8	20	20.5	21.3	22.3	23.8	25.5	28





12-2 本体の孔加工

1:ルーバーのV溝と切断端部から7mmの交点に、φ3.5mmの下孔を加工
2:上下枠にφ3.5mmの下孔を加工



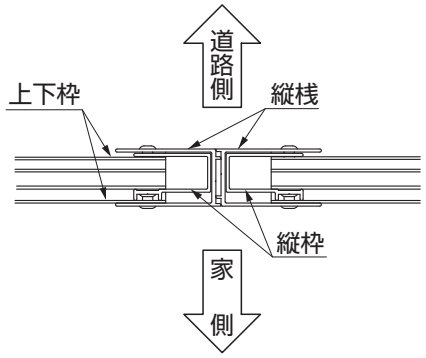
12-3 本体の組付け

▼ 分割の場合▼

1:縦枠をルーバーに【18b】φ4×6ナベタッピンネジ3種で取付け
2:縦桟を縦枠と上下枠に【18a】φ4×8サラタッピンネジ3種 D=6で取付け
3:上下桟をスライドして元の位置に戻す

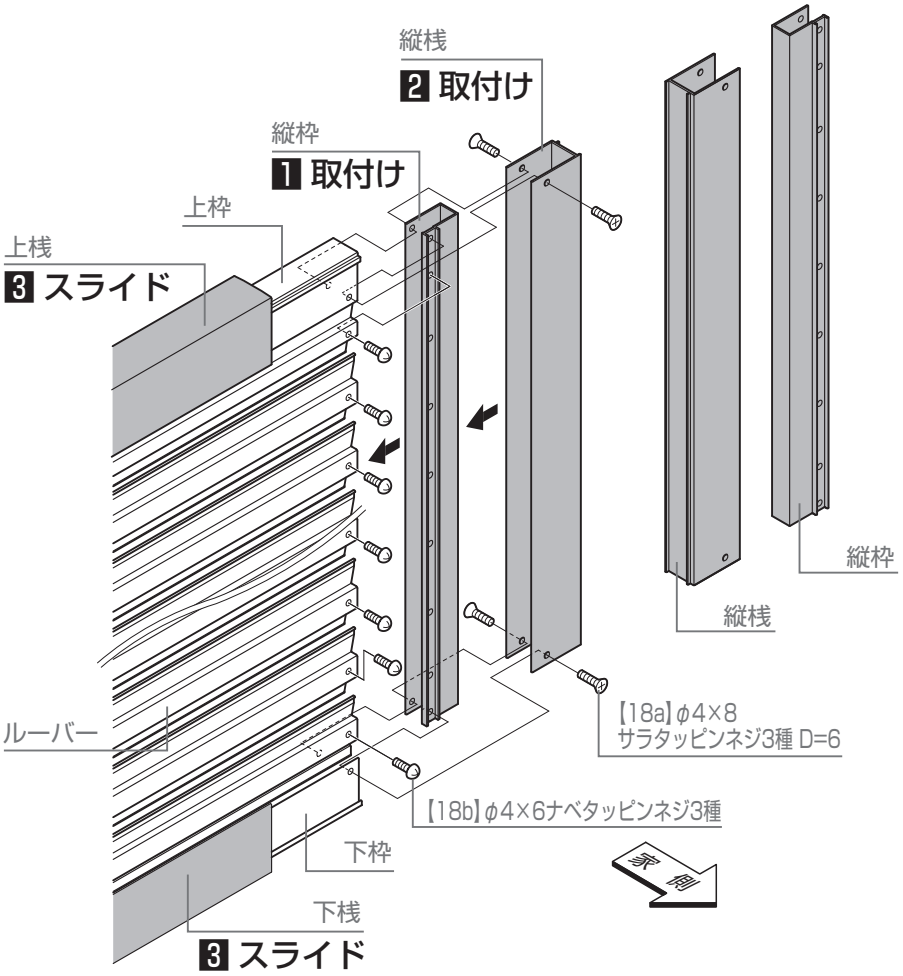
お願い

●縦桟、縦枠、上下枠は下図のように組み付けてください。



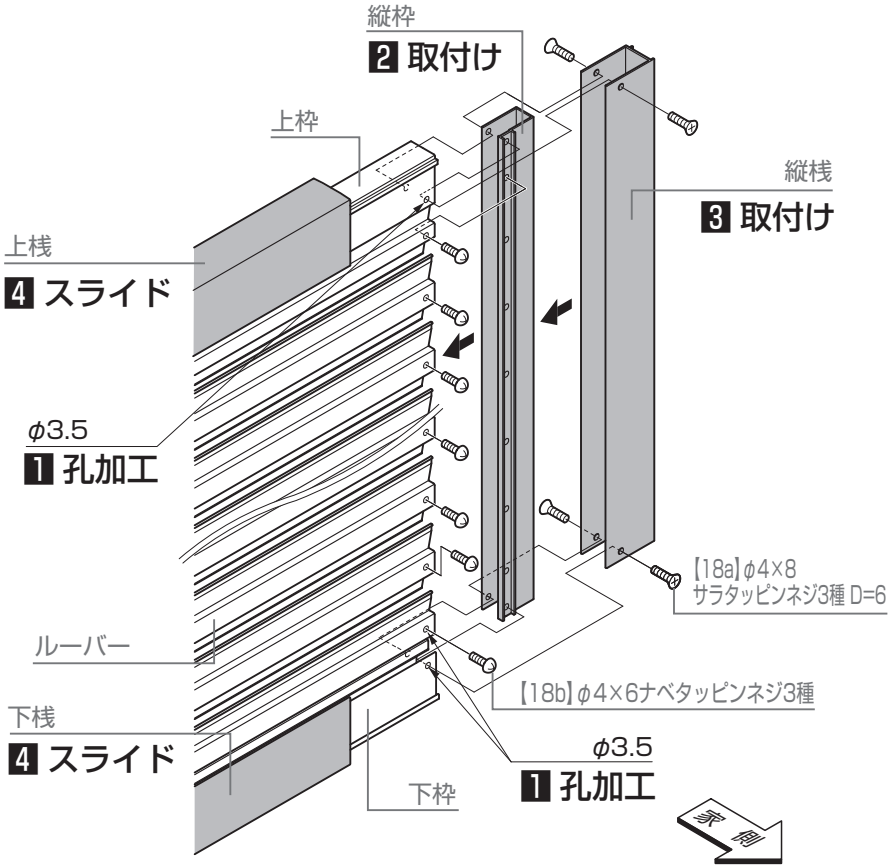
補 足

●分割した本体のもう一方も、同様にして組付けてください。



▼ 切詰めの場合

1:上下枠とルーバーにφ3.5の孔加工（12-2 本体の孔加工 参照）
2:縦枠をルーバーに【18b】φ4×6ナベタッピンネジ3種で取付け
3:縦桟を縦枠と上下枠に【18a】φ4×8サラタッピンネジ3種 D=6で取付け
4:上下桟をスライドして元の位置に戻す



梱包明細表

【1】フェンス

名　称	略　図	員　数
フェンス本体		1
取付説明書<EXM-034>	―	1

【2】アルミ多段柱

名　称	略　図	員　数	
		T-14·T-16·T-18·T-20·T-22·T-24·T-28·T-30	傾斜地用T-24·傾斜地用T-30
柱		1	1
レベルカバー		1	0

【3】フリーポール柱

名　称	略　図	員　数
主柱（T-6・T-8・T-10・T-12）		1

【4】中間ブラケットセット

名　称	略　図	員　数
中間ブラケット		1
多段柱用中間ブラケット補助金具		1
ブラケット裏板		1
すきま隠し材		2
【4a】φ5×10ナベタッピンネジ3種 D=9		1
【4b】φ4×13ナベドリルネジ		2
【4c】φ4×10薄平ドリルネジ		2

【5】上下ブラケットセット　アルミ多段柱用 55×75

名　称	略　図	員　数
上ブラケット		1
下ブラケット		1
柱キャップ		1
傾斜地用多段柱 ブラケットスペーサー		2
ブラケット裏板		2
【5a】φ5×25ナベタッピンネジ3種 D=9		3
【5b】φ5×16ナベタッピンネジ3種 D=9		1
【5c】φ4×12サラタッピンネジ1種		1
【5d】φ4×10薄平ドリルネジ		2
注意シール	―	1

【6】上下ブラケットセット アルミ多段柱用 60×60

名　称	略　図	員　数
上ブラケット		1
下ブラケット		1
柱キャップ		1
傾斜地用多段柱 ブラケットスペーサー		2
ブラケット裏板		2
【6a】φ5×25ナベタッピンネジ3種 D=9		3
【6b】φ5×16ナベタッピンネジ3種 D=9		1
【6c】φ5×12サラタッピンネジ3種		1
【6d】φ4×10薄平ドリルネジ		2
注意シール	―	1

【7】上下ブラケットセット　フリーポール柱用

名　称	略　図	員　数
上ブラケット		1
下ブラケット		1
柱キャップ		1
ブラケット裏板		2
【7a】φ5×10ナベタッピンネジ3種 D=9		2
【7b】φ5×16ナベタッピンネジ3種 D=9		1
【7c】φ4×10トラスタッピンネジ3種 D=8		1
【7d】φ4×10薄平ドリルネジ		2
注意シール	―	1

【8】継手部品セット

名　称	略　図	員　数
傾斜地ストレートジョイント上		1
傾斜地ストレートジョイント下		1
【8a】φ4×10トラスタッピンネジ1種 D=8		4

【9】エンドカバー

名　称	略　図	員　数		
		T-6・8・10	T-12・20	T-30
エンドカバー		1	1	1
傾斜地キャップB		2	2	2
【9a】φ4×15ナベタッピンネジ2種（ガイド付き）		4	4	4
【9b】φ4×13.5薄平ドリルネジ3種 D=7		3	5	7

梱包明細表

【10】連結カバー

名　称	略　図	員　数		
		T-6・8・10	T-12・20	T-30
目隠しヒンジ		1	1	1
連結カバー		2	2	2
傾斜地キャップB		4	4	4
【10a】φ4×15ナベタッピンネジ2種（ガイド付き）		8	8	8
【10b】φ4×13.5薄平ドリルネジ3種 D=7		5	9	13

【11】連結コーナーカバー

名　称	略　図	員　数		
		T-6・8・10	T-12・20	T-30
連結カバー		2	2	2
傾斜地コーナー軸		2	2	2
連結部材コーナーヒンジ		1	1	1
傾斜地キャップA		2	2	2
傾斜地キャップB		4	4	4
【11a】φ4×15ナベタッピンネジ2種（ガイド付き）		12	12	12
【11b】φ4×13.5薄平ドリルネジ3種 D=7		5	9	13
【11c】M4平座金		4	4	4

【12】下桟すきまカバー60本体

名　称	略　図	員　数
下桟すきまカバー60本体		1
すきまカバービート材		1

【13】下桟すきまカバー117本体

名　称	略　図	員　数
下桟すきまカバー117本体		1
すきまカバービート材		1

【14】下桟すきまカバー60用端部キャップ

名　称	略　図	員　数
下桟すきまカバー60用端部キャップ(L)		1
下桟すきまカバー60用端部キャップ(R)		1
傾斜地目隠しプレート		1
【14a】φ4×8サラタッピンネジ1種		2
【14b】φ4×10トラスタッピンネジ1種 D=8		2

【15】下桟すきまカバー117用端部キャップ

名　称	略　図	員　数
下桟すきまカバー117用端部キャップ(L)		1
下桟すきまカバー117用端部キャップ(R)		1
傾斜地目隠しプレート		1
【15a】φ3×10トラスタッピンネジ1種		2
【15b】φ4×10トラスタッピンネジ1種 D=8		2

【16】すきまカバー60用取付部品セット

名　称	略　図	員　数
すきまカバー60用取付金具		3
下桟すきまカバー60ストレート継手		1
【16a】φ4×10薄平ドリルネジ		6
【16b】φ4×8サラタッピンネジ1種 D=6		2

【17】すきまカバー117用取付部品セット

名　称	略　図	員　数
すきまカバー117用ブラケット		3
下桟すきまカバー117ストレート継手		1
【17a】φ4×10薄平ドリルネジ		6

【18】切詰用縦桟セット

名　称	略　図	員　数			
		T-6	T-8	T-10	T-12
縦桟		1	1	1	1
縦枠		1	1	1	1
【18a】φ4×8サラタッピンネジ3種 D=6		5	5	5	5
【18b】φ4×6ナベタッピンネジ3種		10	14	18	22

取説コード
EXM-034

JZZ637589B
202103_1049
202408B_1049